

だい きよこはまししょうがいしゃ けんしょうひょうか
第3期横浜市障害者プランの検証評価

ひょうか せつめい
【評価の説明】

- ：想定した目標を達成し、想定したとおりの効果が得られた。
- △：一定程度の効果は得られた。
- ×：想定した目標は達成できず、効果も得られなかった。

「第3期計画期間の実績」は、第3期プランの計画期間（平成27年～令和2年度）の実績見込みになります（令和3年1月時点）。最終的な実績については、確定後、市ホームページに公表します。

テーマ1 であ 出会う・つながる・助け合う

とりぐみ
取組1-1 普及・啓発

事業名	目標 (第3期改定時)	第3期計画期間の実績 (令和2年度末見込み)	評価
当事者や障害福祉関連施設、市民団体等による普及・啓発活動への支援	すいしん 推進	セーフティーネットプロジェクト横浜や各区自立支援協議会等による出前講座の開催など、障害理解に向けた普及啓発活動を協働で実施しました。	○
障害者本人及び家族による普及・啓発活動の推進	すいしん 推進	社会参加推進センターにより、普及啓発リーフレットの作成及び配布を行いました。また、障害者週間に合わせた講演会の実施をしました。	○
疾病や障害に関する情報の発信	すいしん 推進	ホームページや「障害福祉のあんない」などの媒体を活用して、疾病や障害に関する情報や支援に関わる活動を紹介しました。	○

事業名 <small>じぎょうめい</small> 事業名	目標 <small>もくひょう</small> 目標 <small>だい き かい いてい じ</small> (第3期改定時)	第3期計画期間の実績 <small>だい き けいかく きかん じっせき</small> 第3期計画期間の実績 <small>れいわ ねんどまつみ こ</small> (令和2年度末見込み)	評価 <small>ひょうか</small> 評価
<small>かくく ふきゅう けいはつかつどう</small> 各区の普及・啓発活動の <small>そくしん</small> 促進	<small>すいしん</small> 推進	<small>かくく くばん こうほう</small> 各区において、区版の広報 <small>よこはま へ</small> よこはまへの記事掲載やイ <small>イベント 等</small> ント等を開催するなど、 <small>それぞれ</small> それぞれの地域特性に応じ <small>た普及・啓発活動</small> た普及・啓発活動を実施し <small>ました。</small> ました。	○
<small>こうしゆ ず が こうさく びじゆつ</small> 4校種 図画工作・美術・ <small>しやうさくひんてん とくべつしえんきやうい</small> 書道作品展 特別支援教育 <small>ぶもん</small> 部門～つたえたい ぼくの <small>おもい わたし</small> おもい わたしのきもち～ <small>の開催</small> の開催	<small>すいしん</small> 推進	<small>しりつがっこう じどうせいと さくひん</small> 市立学校の児童生徒の作品 <small>を一堂に集める</small> を一堂に集める市民公開の <small>作品展で</small> 作品展で、市内の特別支援 <small>学校や個別支援学級等</small> 学校や個別支援学級等に <small>在籍する</small> 在籍する幼児児童生徒の作 <small>品を出展</small> 品を出展しました。 <small>毎年、多数</small> 毎年、多数の来場があり <small>ました。</small> ました。	○
<small>ち い ききやうせいしやかい じつげん</small> 「地域共生社会」の実現に <small>む とりくみどう すいしん</small> 向けた取組等の推進	<small>しょうがいしやしゅうかん</small> 障害者週間を <small>りやう けいはつかつどう</small> 利用した啓発活動 <small>の実施</small> の実施	<small>へいせい ねん がつ きやう とけん</small> ・平成30年5月に九都県 <small>市の首脳が</small> 市の首脳が共生社会の実 <small>現を呼びかける</small> 現を呼びかけるメッセージ <small>動画を作成</small> 動画を作成しました。 <small>障害者週間を</small> ・障害者週間を中心に <small>して</small> して、イベントの開催や <small>心の輪を広げる</small> 心の輪を広げる障害者理 <small>解促進事業等</small> 解促進事業等の啓発活動 <small>を実施</small> を実施しました。	○
<small>がくれい き じ どう およ ほ ごしや</small> 学齢期児童及び保護者への <small>しょうがいり かいけいはつ</small> 障害理解啓発	<small>すいしん</small> 推進	<small>し ない どう じ しゃだんたい どう きやう</small> 市内の当事者団体等の協 <small>力を得ながら</small> 力を得ながら、教育委員 <small>会事務局と連携し</small> 会事務局と連携し、教 <small>職員向け</small> 職員向けの障害理解を進 <small>める冊子を作成</small> める冊子を作成・発行しま <small>した。</small> した。	○

事業名 <small>じぎょうめい</small>	目標 <small>もくひょう</small> (第3期改定時) <small>だい き かい てい じ</small>	第3期計画期間の実績 <small>だい き けい かく き かん じつ せ き</small> (令和2年度末見込み) <small>れい わ ね ん ど ま つ み こ</small>	評価 <small>ひょう か</small>
副学籍による交流教育及び <small>ふくがくせき</small> 共同学習 <small>こうりゅうきょういくおよ きょうどうがくしゅう</small>	推進 <small>すいしん</small>	特別支援学校に在籍する <small>とくべつしえんがっこう ざいせき</small> 児童生徒が居住地の小・ <small>じどうせいと きよじゆうち しょう</small> 中・義務教育学校での <small>ちゆう ぎ むきょういくがっこう</small> 授業や校外活動において <small>じゆぎょう こうがいかつどう</small> 一緒に学ぶ機会を設けまし <small>いっしょ まな き かい もう</small> た。 <交流実績> <small>こうりゅうじつせき</small> 平成27年度：220人 <small>へいせい ねんど にん</small> 平成28年度：233人 <small>へいせい ねんど にん</small> 平成29年度：219人 <small>へいせい ねんど にん</small> 平成30年度：242人 <small>へいせい ねんど にん</small> 令和元年度：207人 <small>れい わ が ん ね ん ど にん</small> 令和2年度：集計中 <small>れい わ ね ん ど しゅうけいちゆう</small>	○

とくみ 取組1-2 そうだんしえん 相談支援

事業名 <small>じぎょうめい</small>	目標 <small>もくひょう</small> (第3期改定時) <small>だい き かい てい じ</small>	第3期計画期間の実績 <small>だい き けい かく き かん じつ せ き</small> (令和2年度末見込み) <small>れい わ ね ん ど ま つ み こ</small>	評価 <small>ひょう か</small>
相談支援事業の周知及び普 <small>そうだんしえんじぎょう</small> 及・啓発 <small>しゅうちおよ ふ きゅう けいはつ</small>	推進 <small>すいしん</small>	基幹相談支援センターを <small>きかんそうだんしえん</small> 中心に、各区において相 <small>ちゅうしん かくく しょう</small> 談支援事業の周知、啓発 <small>だん し え ん じ ギ ェ ェ しょう ち けいはつ</small> を行いました。 <small>おこな</small>	○

事業名 <small>じぎょうめい</small> <small>じぎょうめい</small>	目標 <small>もくひょう</small> (第3期改定時) <small>だい き かいてい じ</small> <small>(だい 3 かい かい じ じ)</small>	第3期計画期間の実績 <small>だい き けいかく きかん じっせき</small> (令和2年度末見込み) <small>れいわ ねんどまつみ こ</small> <small>(れい わ ね ん ど ま つ み こ)</small>	評価 <small>ひょうか</small>
相談支援従事者の人材育成 <small>そうだん し えん じゅう じ しゃ じんざい いく せい</small>	推進 <small>すいしん</small>	横浜市自立支援協議会人材 <small>よこはまし じりつ し えん きょう ぎ かい じんざい</small> 育成部会において改訂した <small>いく せい ぶ かい かい てい</small> 「横浜市相談支援従事者 <small>よこはまし そうだん し えん じゅう じ しゃ</small> 人材育成ビジョン」に基づ <small>じんざい いく せい もと</small> き、市主催の相談支援研 <small>し しゅ さい そうだん し えん けん</small> 修等を実施しました。 <small>しゅう とう じっ し</small> <平成27年度～令和2年度 <small>へいせい ねんど れいわ ねんど</small> の実施状況> <small>じっ し じょう きょう</small> 実施回数：61回（市主催研 <small>じっ し かい すう かい し しゅ さい けん</small> 修45回、法定研修16回） <small>しゅう かい ほう てい けん しゅう かい</small> 受講人数：延べ3,769人 <small>じゅ こう にん ずう の にん</small> （市主催研修2,044人、法 <small>し しゅ さい けん しゅう にん ほう</small> 定研修1,725人） <small>てい けん しゅう にん</small>	△
当事者による相談の充実 <small>とう じ しゃ そうだん じゅう じつ</small>	18区の社会福祉 <small>く しゃかい ふく し</small> 法人型地活ホーム <small>ほうじん が たち かつ</small> において派遣相談 <small>は けん そうだん</small> の活用 <small>かつ しょう</small>	ピア相談員研修を活用 <small>そうだん いん けん しゅう かつ しょう</small> し、ピア相談員のスキルア <small>そうだん いん</small> ップを図りました。また、 <small>は か</small> イベント等でのチラシの配 <small>とう</small> 布により周知を図りまし <small>ふ しゅう ち は か</small> た。 <small>は い</small>	△
既存の相談窓口（地域ケア <small>きぞん そうだん まどぐち ちいき</small> プラザ等）による連携 <small>など れんけい</small>	推進 <small>すいしん</small>	地域の身近な相談機関であ <small>ちいき みぢか そうだん きかん</small> る地域ケアプラザにおい <small>ちいき</small> て、障害に関する相談を <small>しょうがい かん そうだん</small> 受け、必要に応じて適切な <small>う ひつ しょう おう てきせつ</small> 機関へつなげました。 <small>きかん</small> <相談件数> <small>そうだん けん すう</small> 平成27年度：1,622件 <small>へいせい ねんど けん</small> 平成28年度：2,501件 <small>へいせい ねんど けん</small> 平成29年度：2,504件 <small>へいせい ねんど けん</small> 平成30年度：2,665件 <small>へいせい ねんど けん</small> 令和元年度：1,961件 <small>れいわ がん ねんど けん</small> 令和2年度（見込み） <small>れいわ ねんど み こ けん</small> : 1,544件	○

しひょうめい 指標名	へいせい ねんど 平成29年度 (実績)	へいせい ねんど 平成30年度 (実績)	れいわがねんど 令和元年度 (実績)	れいわ ねんど 令和2年度 (実績見込み)
けいかくそうだんしえんりようしゃすう ねん 計画相談支援利用者数 (年 かん 間) (福)	6,909人	9,542人	11,906人	13,179人

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 だい きかいていじ (第3期改定時)	だい きけいかくきかん じっせき 第3期計画期間の実績 れいわ ねんどまつみ こ (令和2年度末見込み)	ひょうか 評価
しじりつしえんきょうぎかい くじりつ 市自立支援協議会と区自立 しえんきょうぎかい れんけい れんどう 支援協議会の連携・連動	すいしん 推進	しじりつしえんきょうぎかい かた 市自立支援協議会のあり方 みなおし、しとくがれんけい・ れんどう ししくせいり 連動する仕組みを整理しま した。	△
くいき こ おうだんてき けんとう 区域を超えた横断的な検討 すいしん の推進	すいしん 推進	しじりつしえんきょうぎかい 市自立支援協議会におい て、くいき こ じょうほうきょう 区域を超えた情報共 ゆう かっせいか ししくせいり 有が活性化する仕組みを整 理しました。	△
なんびょうかんじゃとう ひつよう じょう 難病患者等への必要な情 ほうていきょう 報提供	すいしん 推進	こうえんかい こうりゅうかいとう かいさい 講演会・交流会等の開催 つき かい や月2回のメールマガジン はいしんどう つう てきぎじょう 配信等を通じて、適宜情 ほうはっしん おこな 報発信を行いました。た だし、れいわ ねんど しんがた 令和2年度は新型コ ロナウイルス感染症拡大 ぼうし おお こうえん 防止のため、多くの講演 かい こうりゅうかい ちゅうし 会・交流会が中止となり ました。 ・へいせい ねんど れいわ ねんど 平成27年度～令和2年度 こうえんかい こうりゅうかいのべかいさいけん 講演会・交流会延開催件 すう み こ かい 数(見込み):983回 ・へいせい ねんど れいわ ねんど 平成27年度～令和2年度 メールマガジン はいしんかいすう 配信回数 み こ かい (見込み):140回	△

事業名 じぎょうめい	目標 目 標 （第3期改定時） だい き かい てい じ	第3期計画期間の実績 （令和2年度末見込み） だい き けい かく き かん じっせき れいわ ねん ど まつ み こ	評価 ひょうか
発達障害者支援センター 運営事業 はったつしょうがいしゃしえん うんえいじぎょう	推進 すいしん	発達障害者が身近な地域 で相談を受けられるよう、 各区福祉保健センターでの 特定相談日を実施しまし た。 はったつしょうがいしゃ みぢか ちいき そうだん う かくくふくしほけん とくていそうだんび じっし	○

指標名 しひょうめい	平成29年度 （実績） へいせい ねん ど じっせき	平成30年度 （実績） へいせい ねん ど じっせき	令和元年度 （実績） れいわ ねん ど じっせき	令和2年度 （実績見込み） れいわ ねん ど じっせき み こ
発達障害者支援地域協 議会の開催件数(福) はったつしょうがいしゃしえん ちいききょう ぎかい かいさいけんすう	—	3件 けん	4件 けん	2件 けん
発達障害者支援センター による相談件数(福) はったつしょうがいしゃしえん そうだんけんすう	—	5,567件 けん	6,169件 けん	4,600件 けん
発達障害者支援センター 及び発達障害者地域支援 マネジャーの関係機関への 助言件数(福) はったつしょうがいしゃしえん およ 是ったつしょうがいしゃちいきしえん かんけいきかん	—	484件 けん	907件 けん	1,220件 けん
発達障害者支援センター 及び発達障害者地域支援 マネジャーの外部機関や地 域住民への研修、啓発(福) はったつしょうがいしゃしえん およ しょうがいしゃちいきしえん がいぶきかん ち いきじゅうみん けんしゅう けいはつ	—	59件 けん	67件 けん	25件 けん

とりにくみ じょうほう ほしやう
取組1-3 情報の保障

事業名 じぎょうめい	目標 目 標 （第3期改定時） だい き かい てい じ	第3期計画期間の実績 （令和2年度末見込み） だい き けい かく き かん じっせき れいわ ねん ど まつ み こ	評価 ひょうか
合理的配慮を踏まえた情 報発信のルール化 ごうりてきはいいりよ ふ じやう ほうはっしん か	推進 すいしん	・「障害者差別解消の推 進に関する取組指針」や 「障害を理由とする差別 解消の推進に関する職員 対応要領」を策定し、障 害のある人の意向を確認 しょうがいしゃさべつかいしやう すい しん かん とりにくみしん しょうがい りゆう さべつ かいしやう すいしん かん しょくいん たいおうようりやう さくてい しょう	○

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 だい き かい てい じ (第3期改定時)	だい き けい か く き かん じつ せ き 第3期計画期間の実績 れい わ ね ん ど ま つ み こ (令和2年度末見込み)	ひょう か 評価
		<p> し、場面に^{ばめん おう かんが}応じて^{たいおう}考え、 対応^{たいおう}していくことを本市^{ほんし}の 対応^{たいおう}の基本^{きほん}としました。 ・視覚^{しかく}障害^{しょうがい}のある人^{ひと}への 情報^{じょうほう}保障^{ほしょう}を目的^{もくてき}に、希望^{きぼう} する方^{かた}に対して本市^{ほんし}から発^{はつ} 出^{しゅつ}する通知^{つうち}の「通知^{つうち}名^{めい}」、 「問^{とい}合^あせ先^{さき}」等^{とう}について、 点^{てん}字^じ化^かした通知^{つうち}を^{はつ}送^{そう}する 仕^{しく}組^くみを^との^{との}整^{ととの}えましました。 <登^{とう}録^{ろく}者^{しゃ}数^{すう}> 118人 (令^{れい}和^わ3年1月^{がつ}末^{まつ}現^{げん}在^{ざい}) ・聴^{ちやう}覚^{かく}障害^{しょうがい}のある人^{ひと}への 情報^{じょうほう}保障^{ほしょう}の取^{とり}組^{ぐみ}として、 タブレット^{たんまつ}端^{かつ}末^{よう}を^た活^{かつ}用^{よう}した 手^{しゅ}話^わ通^{つう}訳^{やく}サ^じー^じブ^じス^じの^{じょう}情^{じょう}報^{ほう} 提^{てい}供^{きやう}や、新^{あら}たに^{しやう}に^{がい}障^{しや}害^{がい}者^{しや}支^し 援^{えん}ア^{どう}プ^にリ^{ゆう}の^お導^{こな}入^いを^ま行^まい^ま した。 ・横^{よこ}浜^{はまし}市^つの^つ作^ちる^し通^し知^しや^しお^し知^し ら^しせ^し資^ふ料^く等^{ざつ}は、複^ふ雑^{ざつ}な^{ぶん}文^{ぶん} 章^{しやう}構^{こう}成^{せい}や難^{なん}解^{かい}な^{ひやう}表^{げん}現^{げん}を^{つか}使^{つか} っ^てい^る場^ば合^{あい}が^あり、知^ち的^{てき} 障^{しやう}害^{がい}の^{ひと}あ^る人^{ひと}に^{せい}は^{かく}正^{せい}確^{かく}に 内^{ない}容^{よう}を^は把^{あく}握^わす^るこ^とが^む難^{ずか} しい^ば場^{あい}合^{あい}が^あり^ます。こ^の た^め、言^{こと}葉^ばの^お置^かき^か換^かえ^かや^かデ^か ザ^とイ^{へん}ン、レ^とイ^{へん}ア^{へん}ウ^{へん}ト^{へん}等^{へん}の^{へん}変^{へん} 更^{こう}に^ちよ^{てき}る^{しやう}知^{しやう}的^{しやう}障^{しやう}害^{がい}の^ある 人^{ひと}へ^しの^しわ^しか^りや^しす^い資^し料^{りやう}を^さ 作^{さく}成^{せい}し^まし^た。 </p>	

しひょうめい 指標名	へいせい ねんど 平成29年度 じっせき (実績)	へいせい ねんど 平成30年度 じっせき (実績)	れいわがねんど 令和元年度 じっせき (実績)	れいわ ねんど 令和2年度 じっせき みこ (実績見込み)
しゅわ つうやくしゃ はけん りようしゃ 手話通訳者の派遣 (利用者 数) (福)	8,250人	9,546人	9,924人	8,424人
ようやく ひっ きゃ はけん りようしゃ 要約筆記者の派遣 (利用者 数) (福)	1,577人	1,742人	1,358人	443人
しゅわ ほう し いん ようせい けん しゅう じぎょう 手話奉仕員養成研修事業 (養成人数) (福)	160人	158人	135人	※ 0人
しゅわ つうやくしゃ ひっ きゃ ようせい けん 手話通訳者・筆記者養成研 修事業 (養成人数) (福)	81人	93人	89人	※ 0人
もう しゃ お つうやく かいじょいん 盲ろう者向け通訳・介助員 養成研修事業 (養成人数) (福)	12人	24人	26人	※ 0人

※ しんがた かんせんしやう かいさい ちゆうし
新型コロナウイルス感染症により開催を中止したため。

とくみ さいがいたいさく
取組 1-4 災害対策

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 だい きかいてい じ (第3期改定時)	だい きけい かく きかん じっせき 第3期計画期間の実績 れいわ ねんど まつ み こ (令和2年度末見込み)	ひょうか 評価
さいがい じようえんごしゃしえんじぎょう 災害時要援護者支援事業	すいしん 推進	かくく ちいき じつ 各区において、地域の実 じょう おう さまざま さいがい じ 状に応じた様々な災害時 ようえんごしゃしえん とりくみ おこな 要援護者支援の取組が行 われ、さいがい じようえんごしゃしえん 災害時要援護者支援 とりくみ じっし じち の取組を実施している自治 かい ちょうないかい わりあい れいわ 会・町内会の割合が令和 ねん がまつげんざい ぱーせんと 2年3月末現在で91 % となりました。	○

事業名 <small>じぎょうめい</small> <small>じぎょうめい</small> 事業名	目標 <small>もくひょう</small> 目標 <small>だい き かい てい じ</small> (第3期改定時)	第3期計画期間の実績 <small>だい き けい かく き かん じつ せ き</small> 第3期計画期間の実績 <small>れい わ ね ん ど ま つ み こ</small> (令和2年度末見込み)	評価 <small>ひょうか</small> 評価
障害者・支援者によるキャ <small>しょうがいしゃ しえんしゃ</small> 障害者・支援者によるキャ <small>たいはけんしえんじぎょう</small> ラバン隊派遣支援事業	推進 <small>すいしん</small> 推進	セイフティーネットプロジ <small>よこはま きょうりょく え</small> ェクト横浜の協力を得 <small>しょうがいりかい かか だま え</small> て、障害理解に係る出前 <small>こうざとう ち いきぼうさいきよてんくんれん</small> 講座等を地域防災拠点訓練 <small>とう かつよう</small> 等で活用いただけるよう、 <small>かくく やくしよ かくく ち いきぼうさい</small> 各区役所、各区の地域防災 <small>きよてんうんえい いんかい かい ぎ とう</small> 拠点運営委員会の会議等で <small>しゅうち だま え こう</small> 周知するとともに、出前講 <small>ざ かつ どう とう じっし</small> 座活動等を実施しました。 <small>ち い き ぼう さい き よ て ん くん れ ん とう</small> また、地域防災拠点訓練等 <small>さんか し く けん</small> に参加しやすい仕組みを検 <small>とう</small> 討しました。	○
障害種別災害時対応マニ <small>しょうがいしゅべつさいがい じたいおう</small> 障害種別災害時対応マニ <small>さくせい</small> ュアルの作成	対応マニュアルの <small>たいおう</small> 対応マニュアルの <small>さくせい</small> 作成	<small>かんけいだんたい けんとうかい ぎ じつ</small> 関係団体との検討会議の実 <small>し</small> 施ができず、マニュアル作 <small>せい いた</small> 成には至りませんでした <small>しょうがいしゅべつ たくせい</small> が、障害種別ごとの特性 <small>とう き さい しょうがいしやり</small> 等が記載された障害者理 <small>かいけいはつさつし ところ か</small> 解啓発冊子「心と手を貸 <small>しゅうち</small> してください」の周知に <small>つと</small> 努めたほか、地域防災拠点 <small>くんれんとう しょうがいとくせい ぶく</small> 訓練等で障害特性を含め <small>たいおうほうほう ふ きゅう と</small> た対応方法の普及に取り <small>く</small> 組みました。	△
地域防災拠点における障 <small>ち い き ぼう さい き よ て ん</small> 地域防災拠点における障 <small>がいしやたいけん</small> 害者体験	推進 <small>すいしん</small> 推進	セイフティーネットプロジ <small>よこはま じっし</small> ェクト横浜が実施している <small>しょうがいりかい かか だま え こう ざ</small> 障害理解に係る出前講座 <small>とう ち い き ぼう さい き よ て ん くん れ ん とう</small> 等を、地域防災拠点訓練等 <small>じっし</small> で実施できるよう支援しま <small>しえん</small> した。また、各区の地域防 <small>かくく ち い き ぼう</small> 災拠点運営委員会の会議等 <small>さいきよてんうんえい いんかい かい ぎ とう</small> で周知し実施拡大に取り <small>しゅうち じっし かく だい と</small> 組みました。	△

事業名 <small>じぎょうめい</small>	目標 <small>もくひょう</small> (第3期改定時) <small>だい き かいていじ</small>	第3期計画期間の実績 <small>だい きけいかくきかん じっせき</small> (令和2年度末見込み) <small>れいわ ねんどまつみ こ</small>	評価 <small>ひょうか</small>
区局障害者災害対策会議 <small>くきょくしょうがいしやさいがいたいさくかいぎ</small>	推進 <small>すいしん</small>	関係区局において、福祉 <small>かんけいくきょく</small> 避難所に係る課題検討を進 <small>ふくし</small> めていましたが、対策会議 <small>ひなんじょ かか かいけんとう すず</small> の実施には至っていません。 <small>じっし</small> 引き続き有効な連携手 <small>いた</small> 法や対応を検討していきま <small>ひ つづ ゆうこう れんけいしゅ</small> す。 <small>ほう たいおう けんとう</small>	×
障害者災害対策会議 <small>しょうがいしやさいがいたいさくかいぎ</small>	推進 <small>すいしん</small>	関係区局において、会議 <small>かんけいくきょく</small> の実施方法の検討を進めて <small>かいぎ</small> いましたが、会議の実施に <small>じっし ほうほう けんとう すず</small> は至っていません。引き続 <small>いた</small> き有効な自助共助の取組 <small>ひ つづ</small> や対応を検討していきま <small>ゆうこう じじょきょうじょ とりくみ</small> す。 <small>たいおう けんとう</small>	×
障害種別応急備蓄物資連 <small>しょうがいしゅべつおうきゅうびちくぶっしれん</small> 携事業 <small>けいじぎょう</small>	推進 <small>すいしん</small>	ストマ用装具の保管用ロッ <small>ようそうぐ ほかんよう</small> カーを全区(各区1か所) <small>ぜんく かくく しょ</small> に設置しました。 <small>せっち</small>	○

テーマ2 住む、そして暮らす

とくみ 取組2-1 住まい

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>もくひょう 目標 (第3期改定時)</p>	<p>だい きけいかくきかん じっせき 第3期計画期間の実績 (令和2年度末見込み)</p>	<p>ひょうか 評価</p>
<p>こうどうしょうがい かの す 行動障害のある方の住 まい検討</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>はったつしょうがいしやしえん ・発達障害者支援センタ ーに地域支援マネジャーを ちいきしえん 4名体制で配置し、障 害福 めいたいせい はいち しょうがいふく 祉サービス事業所等に対 し じぎょうじょうどう たい する行動障害・発達障害 こうどうしょうがい はったつしょうがい に係るコンサルテーション かか を実施しました(169ページ さんしょう 参照)。 しょうがいふくし じぎょう ・障害福祉サービス事業 じょうどう しょくいん たいしょう こう 所等の職員を対象に、行 どうしょうがい かか しえんりよくこう 動障害に係る支援力向 じょう はか けんしゅう し 上を図るための研修を市 ないほうじん きょうどう 内法人が共同して「オール よこはまし じっし 横浜市」として実施しまし た。 へいせい ねんど れいわ ねんど <平成28年度～令和2年度 じっしじょうきょう の実施状況> じっしかいすう かい き そけんしゅう 実施回数：15回(基礎研修 かい じっせんけんしゅう かい 13回、実践研修2回) じゅこうにんずう み こ の 受講人数(見込み)：延べ にん き そけんしゅう 1,484人(基礎研修1,311 にん じっせんけんしゅう にん 人、実践研修173人) ひ つづ こうどうしょうがい ・引き続き、行動障害に たいおう 対応するグループホームに けんどう ついて検討しました。</p>	<p>○</p>

事業名 <small>じぎょうめい</small>	目標 <small>もくひょう</small> (第3期改定時) <small>だい き かいていじ</small>	第3期計画期間の実績 <small>だい きけいかくきかん じっせき</small> (令和2年度末見込み) <small>れいわ ねんどまつみ こ</small>	評価 <small>ひょうか</small>
サポートホーム事業（発達障害者に対する生活支援の推進） <small>じぎょう はったつしょうがいしゃ たいせいかつしえん</small> <small>すいしん</small> ②	推進 <small>すいしん</small>	サポートホーム事業により、発達障害のある人の生活支援を実施しました（令和2年3月に、2か所目のサポートホームが開設）。 <small>じぎょう</small> <small>はったつしょうがい ひと</small> <small>せいかつしえん じっし</small> <small>れいわ ねん がつ</small>	○
養護老人ホーム整備事業（視覚障害者の入所） <small>ようごろうじん せいび じぎょう</small> <small>しかくしょうがいしゃ にゅうしょ</small>	推進 <small>すいしん</small>	視覚障害者の定員は、「野庭風の丘」と「名瀬の森」の2施設で合わせて12人を確保し、入所受入を継続しています。 <small>しかくしょうがいしゃ ていいん</small> <small>ばかせ おか なせ もり</small> <small>しせつ あ にん</small> <small>かくほ にゅうしょうけいれい けいぞく</small>	○

事業名 <small>じぎょうめい</small>	目標 <small>もくひょう</small> (第3期改定時) <small>だい き かいていじ</small>	第3期計画期間の実績 <small>だい きけいかくきかん じっせき</small> (令和2年度末見込み) <small>れいわ ねんどまつみ こ</small>	評価 <small>ひょうか</small>
身体障害者・高齢者の住宅改造及び模様替え <small>しんたいしょうがいしゃ こうれいしゃ じゅう たくかいぞうおよ もようが</small>	推進 <small>すいしん</small>	<住宅改造実績> <small>じゅうたくかいぞうじっせき</small> 平成27年度：59件 <small>へいせい ねんど けん</small> (障害者対応24件、高齢者対応35件) <small>しょうがいしゃたいおう けん こうれい しゃたいおう けん</small> 平成28年度：37件 <small>へいせい ねんど けん</small> (障害者対応27件、高齢者対応10件) <small>しょうがいしゃたいおう けん こうれい しゃたいおう けん</small> 平成29年度：37件 <small>へいせい ねんど けん</small> (障害者対応14件、高齢者対応23件) <small>しょうがいしゃたいおう けん こうれい たいおう けん</small> 平成30年度：55件 <small>へいせい ねんど けん</small> (障害者対応27件、高齢者対応28件) <small>しょうがいしゃたいおう けん こうれい しゃたいおう けん</small> 令和元年度：36件 <small>れいわ がんねんど けん</small> (障害者対応15件、高齢者対応21件) <small>しょうがいしゃたいおう けん こうれい しゃたいおう けん</small> 令和2年度(見込み)： <small>けん しょうがいしゃたいおう けん</small> 36件(障害者対応15件、 <small>こうれいしゃたいおう けん</small> 高齢者対応21件) <模様替え承認実績> <small>もようが しょうにんじっせき</small> 平成27年度：154件 <small>へいせい ねんど けん</small> 平成28年度：140件 <small>へいせい ねんど けん</small> 平成29年度：139件 <small>へいせい ねんど けん</small> 平成30年度：127件 <small>へいせい ねんど けん</small> 令和元年度：86件 <small>れいわがんねんど けん</small> 令和2年度(見込み) <small>れいわ ねんど みこ</small> : 86件 <small>けん</small>	○

しひょうめい 指標名		へいせい ねんど 平成29年度 じっせき (実績)	へいせい ねんど 平成30年度 じっせき (実績)	れいわがんねんど 令和元年度 じっせき (実績)	れいわ ねんど 令和2年度 じっせき みこ (実績見込み)
きょうどう せいかつ えんじよ 共同生活援助 (グループホー ム)利用者数 ^福	しん きせつ (新規設 置/年)	にんぶん 205人分	にんぶん 214人分	にんぶん 299人分	にんぶん 212人分
	りようじん (利用人 数/年)	にんぶん 4,180人分	にんぶん 4,392人分	にんぶん 4,721人分	にんぶん 4,943人分

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 だい きかいていじ (第3期改定時)	だい きけいかくきかん じっせき 第3期計画期間の実績 れいわ ねんどまつみこ (令和2年度末見込み)	ひょうか 評価
しょうがいしゃしえんしせつ さいせいび 障害者支援施設の再整備	かんりょう 完了	しょうがいしゃしえんしせつ けい わせい 障害者支援施設「恵和青 ねんりょう かいけい どう さいせいび 年寮」「偕恵」等の再整備 は、平成28年度で完了し ました。	○
しょうがいじしせつ せいび さいせいび 障害児施設の整備・再整備 あ	しせつじょうきょうどう 施設状況等によ り検討	へいせい ねんど ふくしがたしょうがいじ 平成27年度に福祉型障害児 にゅうしょしせつ 入所施設「ぶどうの実 (旧白根学園児童寮)」、 へいせい ねんど いりょうがたしょうがいじ 平成28年度に医療型障害児 にゅうしょしせつ よこはまりょういくいりょう 入所施設「横浜療育医療 センター」、平成29年度に ふくしがたしょうがいじにゅうしょしせつ 福祉型障害児入所施設 「ぼらいと・えき(旧横 浜市なしの木学園)」の再 せいび かんりょう 整備を完了しました。 また、平成28年6月に医 療型障害児入所施設 「横浜医療福祉センター港 南」を開所しました。	○

事業名 <small>じぎょうめい</small> 事業名	目標 <small>もくひょう</small> 目標 <small>だい き かい いてい じ</small> (第3期改定時)	第3期計画期間の実績 <small>だい きけいかくきかん じっせき</small> 第3期計画期間の実績 <small>れいわ ねんどまつみ こ</small> (令和2年度末見込み)	評価 <small>ひょうか</small> 評価
公立障害者支援施設(横浜 <small>こうりつしょうがいしゃしえんしせつ よこはま</small> 公立障害者支援施設(横浜 <small>ししょうふうがくえん</small> 市松風学園)の再整備の <small>さいせいび</small> 再整備の <small>けんとう</small> 検討	個室化等の利用 <small>こしつかとう りょう</small> 個室化等の利用 <small>かんきょう せつび かいぜん</small> 環境や設備の改善 <small>およ しんにゆうしよしせつ</small> 及び新入所施設の <small>こうじじっし</small> 工事実施	入居者の居住環境改善 <small>にゆうきよしゃ きょじゆうかんきょうかいぜん</small> 入居者の居住環境改善 <small>こしつかとう せつけい すず</small> のため個室化等の設計を進 <small>どうしきち いち</small> めるとともに、同敷地の一 <small>ぶ かつよう にゆうしよしせつ</small> 部を活用して入所施設を <small>せいび きほんこうそう</small> 整備するため、基本構想に <small>ちやく</small> 着手しました。 <small>げんざい かいたいこうじ お どう</small> 現在、解体工事を終え、同 <small>しきち いちぶ かつよう にゆう</small> 敷地の一部を活用した入 <small>しよしせつ けんせつこう</small> 所施設については、建設工 <small>じ ちやくしゅ</small> 事に着手しました。	△

しひょうめい 指標名		へいせい ねんど 平成29年度 じっせき (実績)	へいせい ねんど 平成30年度 じっせき (実績)	れいわがねんど 令和元年度 じっせき (実績)	れいわ ねんど 令和2年度 じっせき みこ (実績見込み)
ふくし しせつ 福祉施設 にゆうしよしゃ 入所者の ちいきせいかつ 地域生活へ いこう の移行(福)	ねんどまつじてん 年度末時点での しせつにゆうしよしゃすう 施設入所者数	1,467人	1,455人	1,464人	1,411人
	ねんどまつじてん 年度末時点での ていじんすう 定員数	1,094人	1,094人	1,094人	1,084人
しせつにゆうしよしえん 施設入所支援(利用人数/ つき) (福 児)		1,467人	1,455人	1,464人	1,411人
ふくしがたしやうがい 福祉型障害児入所支援(利用 じどうすう つき 児童数/月) (福 児)		164人分	163人分	163人分	163人分
いりやうがたしやうがい 医療型障害児入所支援(利 よう じどうすう つき 用児童数/月) (福 児)		87人分	84人分	87人分	87人分
しゆくはくがた じりつ 宿泊型自立 くんれん 利用 訓練(利用 にんずう つき 人数/月) (福 児)	にんにちぶん (人日分)	2,485人日	2,439人日	2,336人日	1,970人日分
	にんぶん (人分)	91人分	89人分	87人分	72人分
りやうようかいご 療養介護(福 児)		245人分	273人分	278人分	283人分
さいいじやう 18歳以上の しょうがいじしせつ 障害児施設 にゆうしよしゃ 入所者の しょうがいしやしえん 障害者支援 しせつおよび地 施設及び地 いき 域への移行	さいいじやう 18歳以上の入 しよしゃ いこうにんずう 所者の移行人数	7人	14人	24人	24人
	いこうよていたいしやう 移行予定対象 にんずう 人数	20人	6人	5人	5人
よこはまたいいん 横浜市退院 じ サポート事 ぎやう 業	こべつしえんたいしやう 個別支援対象 しやすう にん ねん 者数(人/年)	87人	123人	161人	150人
	じっしじぎやうしやすう 実施事業所数	—	15か所	18か所	18か所

事業名 <small>じぎょうめい</small>	目標 <small>もくひょう</small> (第3期改定時) <small>だい き かいていじ</small>	第3期計画期間の実績 <small>だい きけいかくきかん じっせき</small> (令和2年度末見込み) <small>れいわ ねんどまつみ こ</small>	評価 <small>ひょうか</small>
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築 <small>せいしんしょうがい たいおう ち いきほうかつ こうちく</small>	推進 <small>すいしん</small>	平成29年度より国の事業である「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業」へ参加し、システム構築の推進体である「協議の場」の枠組みを検討してきました。平成30年度、令和元年度には、市内方面別に順次モデル区を設定し（4区）、それぞれの地域特性を踏まえて課題解決に向けた取組を協議の場の中で検討してきました。また、区向けに研修会・説明会などを開催し、取組の支援、情報共有を行ってきました。また市域では令和元年度に市自立支援協議会地域移行・地域定着部会を立ち上げ、令和2年度の協議の場全区設置に向けた準備を行ってきました。	○

しひょうめい 指標名		へいせい ねんど 平成29年度 じっせき (実績)	へいせい ねんど 平成30年度 じっせき (実績)	れいわがんねんど 令和元年度 じっせき (実績)	れいわ ねんど 令和2年度 じっせき みこ (実績見込み)
せいしんびょうしょう 精神病床における1年以 じょうちよう きにゆういんかんじゃすう 上長期入院患者数(65 さい いじょう 歳以上) (福)		1,126人	1,004人	1,112人	ちょうさちゆう 調査中 ※1
せいしんびょうしょう 精神病床における1年以 じょうちよう きにゆういんかんじゃすう 上長期入院患者数(65 さい みまん 歳未満) (福)		1,119人	1,028人	1,064人	ちょうさちゆう 調査中 ※1
せいしんびょうしょう 精神病床における早期退 いんりつ にゆういんご げつじ 院率(入院後3か月時 てん 点) (福)		67.1 %	—	—	— ※2
せいしんびょうしょう 精神病床における早期退 いんりつ にゆういんご げつじ 院率(入院後6か月時 てん 点) (福)		84.3 %	—	—	— ※2
せいしんびょうしょう 精神病床における早期退 いんりつ にゆういんご ねんじてん 院率(入院後1年時点) (福)		90.2 %	—	—	— ※2
ち いき い こう し 地域移行支 えん (福)	つき (/月)	2人分	2人分	10人分	9人分
	ねん (/年)	24人分	23人分	127人分	100人分
ち いきていやくし 地域定着支 えん (福)	つき (/月)	2人分	4人分	32人分	34人分
	ねん (/年)	28人分	46人分	384人分	400人分

※1 国の調査(630調査)が、現在集計作業中のため「調査中」としています。

※2 国の調査(630調査)方式が変更となり、本市全体の数値が算出できなくなったため空欄にしています。

事業名 <small>じぎょうめい</small> 事業名	目標 <small>もくひょう</small> 目標 <small>だい き かい てい じ</small> (第3期改定時)	第3期計画期間の実績 <small>だい き けい かく き かん じっ せ き</small> 第3期計画期間の実績 <small>れい わ ね ん ど ま つ み こ</small> (令和2年度末見込み)	評価 <small>ひょうか</small> 評価
<small>みんかんじゅうたく</small> 民間住宅あんしん入居 <small>じぎょう</small> 事業	<small>すいしん</small> 推進	<small>けんちくきょく けんこうふくしきょく れん</small> 建築局、健康福祉局で連 <small>けい はか しょうがいしゃ みんかん</small> 携を図り、障害者が民間 <small>ちんたいじゅうたく にゅうきよ</small> 賃貸住宅への入居をしま すくする仕組みである <small>じゅうたく</small> 「住宅セーフティネット <small>せい ど どうごう はか</small> 制度」との統合を図りまし た。	○
<small>みんかんじゅうたくにゅうきよ そくしん</small> 民間住宅入居の促進	<small>すいしん</small> 推進	<small>よこはまし ふどうさんかんけいだんたい</small> 横浜市、不動産関係団体や <small>ふくしだんたいどう れんけい</small> 福祉団体等の連携により設 <small>りつ よこはましきよじゅうしえんきょう</small> 立した横浜市居住支援協 <small>ぎ かい なか しょうがいりかい</small> 議会の中で、障害理解を <small>すす</small> 進めるための勉強会等を <small>おこな</small> 行い、制度活用に取り組み ました。	○
<small>こうれいか じゅうどかたいおう</small> 高齢化・重度化対応バリア <small>かいしゅうじぎょう</small> フリー改修事業	<small>すいしん</small> 推進	<small>ねん</small> この6か年で、6ホームか <small>しんせい</small> ら申請があり、トイレや浴 <small>しつ かいしゅう</small> 室の改修、エレベーター <small>かいたんしょうこうき せっち おこな</small> や階段昇降機の設置を行 いました。	○

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 (第3期改定時)	だい きけいかくきかん じっせき 第3期計画期間の実績 (令和2年度末見込み)	ひょうか 評価
ち かつ 地活ホームの運営	すいしん 推進	くに れいわ ねん どまつ せい 国が令和2年度末までの整 備を求めている「地域生活 支援拠点」で必要となる 「緊急時の受入れ・対 応」機能について、地活ホ ームのショートステイも機 能の一つとして活用できる よう、自立支援協議会の 部会や関係事業所との意 見交換会等を通じて、緊 急の定義や受入れフロー について整理しました。 また、機能強化型地活ホ ームの今後の方向性につ いて、関係事業者等と意見 交換を行いました。	○
せい かつ し えん 生活支援センターの運営	すいしん 推進	えーがた く びーがた く かいかん A型9区とB型9区の開館 日・開館時間、職員数等の機 能についての区間格差を是 正し、相談支援機能を充実す るため、令和2年10月1日か ら全区のセンターで、標準 化した新たな基準で運営を しました。	○
たきのうがたきよてん せいび うんえい 多機能型拠点の整備・運営 あ	かいしよ しょ るいけい 開所3か所（累計 6か所）（整備完 了）	かんめ こうほくくきく なよんちようめ 4館目を港北区菊名四丁目 に整備することとしまし た。今後も6か所整備に向 けて、市有地の有効活用を 原則に、早期の整備に向け て検討していきます。	×

しひょうめい 指標名		へいせい ねんど 平成29年度 じっせき (実績)	へいせい ねんど 平成30年度 じっせき (実績)	れいわがねんど 令和元年度 じっせき (実績)	れいわ ねんど 令和2年度 じっせき みこ (実績見込み)
ちいきせいかつしえんきよてん せいび 地域生活支援拠点の整備 福		けんとう 検討	2か所	18か所	18か所
きょたくかいご 居宅介護 福	じかん (時間)	123,771時間	120,066時間	123,614時間	125,120時間
	にんぶん (人分)	6,976人分	7,181人分	7,419人分	7,365人分
じゅうどほうもんかいご 重度訪問介護 福	じかん (時間)	61,587時間	65,159時間	71,113時間	84,617時間
	にんぶん (人分)	353人分	390人分	428人分	500人分
どうこうえんご 同行援護 福	じかん (時間)	15,409時間	13,203時間	14,953時間	11,998時間
	にんぶん (人分)	752人分	764人分	785人分	701人分
こうどうえんご 行動援護 福	じかん (時間)	7,357時間	8,342時間	9,962時間	8,360時間
	にんぶん (人分)	368人分	438人分	544人分	482人分
たんきにゅうしょ 短期入所 (福 社型) 福	にんぶん (人分)	1,032人分	1,089人分	1,098人分	712人分
	にんにち (人日)	5,638人日	5,539人日	5,424人日	4,343人日
たんきにゅうしょ 短期入所 (医 療型) 福	にんぶん (人分)	334人分	366人分	361人分	306人分
	にんにち (人日)	1,760人日	1,903人日	1,751人日	1,557人日
にっちゅういちじしえん 日中一時支援 福	にんぶん (人分)	495人分	489人分	463人分	270人分
	かい (回)	879回	868回	769回	558回
にちじょうせいかつようぐきゅうふ 日常生活用具給付・貸与 (/年) 福		82,900件	85,706件	90,909件	85,720件

<small>じぎょうめい</small> 事業名	<small>もくひょう</small> 目標 <small>だい き かい てい じ</small> (第3期改定時)	<small>だい き けい かく き かん じつ せ き</small> 第3期計画期間の実績 <small>れい わ ねん ど ま つ み こ</small> (令和2年度末見込み)	<small>ひょうか</small> 評価
------------------------------	---	--	---------------------------

<p>メディカルショートステイシステム^あ</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>利用者に対し、事業のさらなる周知を図り、利用登録を促進しました。</p> <p>また、協力医療機関等の関係者向けに実務研修や事業説明等を行い、事業への理解を深めていただくことに努めました。</p> <p>事業開始当初から協力医療機関が少なく課題であった北部方面に、令和元年11月から新たに協力医療機関が1病院加わり、全11病院で実施しました。</p> <p>た。</p> <p>＜登録者数＞</p> <p>平成26年度：129人</p> <p>→令和元年度：365人</p> <p>令和2年度上半期：341人</p> <p>＜利用延べ人数＞</p> <p>平成26年度：74人</p> <p>→令和元年度：231人</p> <p>令和2年度上半期：23人</p> <p>（うち家族の疾病による利用8人）</p> <p>＜利用延べ日数＞</p> <p>平成26年度：671日</p> <p>→令和元年度：1,426日</p> <p>令和2年度上半期：261日</p> <p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響による利用控え等で利用者が減少しました。</p>	<p>○</p>
<p>精神障害者の家族支援事業^あ</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>精神障害者とその家族が適切な関係を保てるよう緊</p>	<p>○</p>

事業名 <small>じぎょうめい</small>	目標 <small>もくひょう</small> (第3期改定時) <small>だい き かい てい じ</small>	第3期計画期間の実績 <small>だい きけいかくきかん じっせき</small> (令和2年度末見込み) <small>れいわ ねんどまつみ こ</small>	評価 <small>ひょうか</small>
		急滞在場所を準備しました。 <small>きゅうたいざい ばしょ じゅんび</small> た。また、年4回の学習 <small>ねん かい がくしゅう</small> 会を実施し、家族が精神疾 <small>かい じっし かぞく せいしんしつ</small> 患について理解を深める機 <small>かん にかい ふか</small> 会を提供しました(令和 <small>ていきょう れいわ</small> 2年度は新型コロナウイルス <small>ねん ど しんがた</small> ス感染症の影響により年 <small>かんせんしょう えいきょう ねん</small> 1回の開催としました)。	
障害者自立生活アシスタ <small>しょうがいしゃじりつせいかつ</small> ント(あ)	推進 <small>すいしん</small>	<事業所数/利用者数> <small>じぎょうしよすう りようしやすう</small> 平成27年度：38か所/926人 <small>へいせい ねん ど しよ にん</small> 平成28年度：40か所/962人 <small>へいせい ねん ど しよ にん</small> 平成29年度：40か所/951人 <small>へいせい ねん ど しよ にん</small> 平成30年度：38か所/819人 <small>へいせい ねん ど しよ にん</small> 令和元年度：35か所/693人 <small>れいわがねん ど しよ にん</small> 令和2年度(見込み) <small>れいわ ねん ど み こ</small> : 36か所/660人 <small>しよ にん</small>	○

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 (第3期改定時)	だい きけいかくきかん じっせき 第3期計画期間の実績 (令和2年度末見込み)	ひょうか 評価
こうけんてきしえんせいど 後見的支援制度(あ)	すいしん 推進	へいせい ねんど く じっし 平成28年度に18区で実施と なり、おやな あと あんしん 親亡き後も安心して ちいきせいかつ おく しく 地域生活を送れる仕組みの じゅうじつ はか 充実を図りました。より安 ていてき じぞくかのう せいど 定的かつ持続可能な制度と なるよう、ありかたけんとうかい な方検討会を じっし 実施しています。 <登録者数> へいせい ねんど にん 平成27年度：934人 へいせい ねんど にん 平成28年度：1,147人 へいせい ねんど にん 平成29年度：1,365人 へいせい ねんど にん 平成30年度：1,560人 れいわがねんど にん 令和元年度：1,741人 れいわ ねんど み こ 令和2年度(見込み) ：1,811人 ※ へいせい ねんど く へい 平成27年度は16区、平 せい ねんど 成28年度からは18区で事 ぎょう てんかい 業を展開しました。	○
しょうひしゃきょういくじぎょう 消費者教育事業(あ)	すいしん 推進	けいざいきぎよく きょういく いんかい じ む 経済局、教育委員会事務 きよく けんこうふくしきよく きよく 局、健康福祉局の3局 れんけい とくべつ しえんがっこう が連携し、特別支援学校の せいと たいしょう てまえこう 生徒を対象とした出前講 ざ こう じっし 座を11校で実施しました。 また、けいざいきぎよく しょうひせいかつ 経済局と消費生活 そうごう れんけい 総合センターと連携して しょうひしゃ そうだんさき 消費者トラブルの相談先 のカードを3 しょうがいべつ つい 障害別に追 か さくせい 加作成しました。	○

しひょうめい 指標名	へいせい ねんど 平成29年度 じっせき (実績)	へいせい ねんど 平成30年度 じっせき (実績)	れいわがねんど 令和元年度 じっせき (実績)	れいわ ねんど 令和2年度 じっせき み こ (実績見込み)
じりつせいかつえんじょ 自立生活援助(福)	—	にんぶん 9人分	にんぶん 57人分	にんぶん 60人分

テーマ3 まいにち あんしん すこすこ 毎日を安心して健やかに過ごす

とくみ
取組3-1 けんこう いりよう 健康・医療

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>もくひょう 目標 (第3期改定時)</p>	<p>だい きけいかくきかん じっせき 第3期計画期間の実績 (令和2年度末見込み)</p>	<p>ひょうか 評価</p>
<p>じゅうど しんけいなんびょうかんじゃざいたくし 重度神経難病患者在宅支 援システムの構築</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>しんだんちよくご かくていしんだん 診断直後(確定診断から6 か月以内)の筋萎縮性側索 硬化症(ALS)の方の生 活支援を目的に、在宅リハ ビリテーション事業の活用 を進めました。 ・平成27年度～令和2年度 依頼実件数 111件</p>	<p>○</p>
<p>なんびょう かんじゃ ざいたく りょうよう けいかく 難病患者在宅療養計画 策定・評価事業</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>ちいき じつじょう くに どうこう ふ 地域の実状や国の動向を踏 まえ、複数区で計画的に実施 してきましたが、令和2年度 は新型コロナウイルス感染 症の影響を受け実施でき ませんでした。 ・平成30年度～令和2年度 のべじっしけんすう けん じぎょうかいし 延実施件数:3件(事業開始 年度:平成30年度) ・令和2年度延実施件数 :0件</p>	<p>△</p>
<p>なんびょうかんじやいちじにゆういんじぎょう 難病患者一時入院事業</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>てきぎいりようきかん ちようせい おこな 適宜医療機関と調整を行 い、事業を実施しました。 ・平成27年度～令和2年度 のべりようにつすう にち 延利用日数:4,169日 ・平成27年度～令和2年度 のべりようにんずう にん 延利用人数:463人</p>	<p>○</p>

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 だい き かい てい じ (第3期改定時)	だい き けい かく き かん じ っ せ き 第3期計画期間の実績 れい わ ね ん ど ま つ み こ (令和2年度末見込み)	ひょう か 評価
けん こう 健康ノート	けん どう 検討	しょうがい かん けい だん たい 障害関係団体にヒアリング を 実 施 し、 庁 内 で 検 討 を 行 い ま し た。 健 康 ノ ー ト を よ り 市 民 の 皆 様 に 使 っ て い た だ く た め に、 入 手 し や す く し て い く と い う 方 向 性 を 決 定 し ま し た。	○
い り ょ う じ ゅ う じ し ゃ けん し ゅ う じ ぎ ゃ う 医療従事者研修事業 (あ)	す い し ん 推進	い り ょ う き かん ふ く し し せ つ と う き ん 医療機関や福祉施設等に勤 務 する 看 護 師 を 対 象 に 「 小 児 訪 問 看 護 ・ 重 症 心 身 障 害 児 者 研 修 」 を 毎 年 実 施 し ま し た。 し な い けん し ゅ う し ゅ う り ょ う し ゃ す う <市内研修修了者数> へい せい ね ん ど に ん 平成27年度：22人 へい せい ね ん ど に ん 平成28年度：32人 へい せい ね ん ど に ん 平成29年度：30人 へい せい ね ん ど に ん 平成30年度：29人 れい わ が ん ね ん ど に ん 令和元年度：38人 れい わ ね ん ど に ん 令和2年度：29人	○
しょうがい ふくし し せつとう はたら かん 障害福祉施設等で働く看 護 師 の 支 援 (あ)	す い し ん 推進	ち かつ た き の う が た き よ て ん 地活ホームや多機能型拠点 を 対 象 に、 歯 科 医 師 に よ る 巡 回 相 談 や 専 門 医 に よ る て ん かん 研 修 の ほ か、 高 齢 施 設 見 学 会 や 看 護 師 等 の ネ ッ ト ワ ー ク づ く り の た め の 看 護 師 等 会 議 を 実 施 し ま し た。	○

事業名 <small>じぎょうめい</small> <small>じぎょうめい</small> 事業名	目標 <small>もくひょう</small> 目標 <small>だい き かい てい じ</small> (第3期改定時)	第3期計画期間の実績 <small>だい きけいかくきかん じっせき</small> 第3期計画期間の実績 <small>れいわ ねんどまつみ こ</small> (令和2年度末見込み)	評価 <small>ひょうか</small> 評価
重度障害者等入院時コミュニケーション支援事業 <small>じゅうどしょうがいしゃどうにゆういん じ</small> 重度障害者等入院時コ <small>しえんじぎょう</small> ミニケーション支援事業 ②	推進 <small>すいしん</small> 推進	計画初期に比べ、実績等も <small>けいかくしよ き くら じっせきどう</small> 計画初期に比べ、実績等も <small>びぞう すい い</small> 微増で推移しています。 <small>はけんけんすう はけんそうじかんすう</small> <派遣件数/派遣総時間数> <small>へいせい ねんど けん じかん</small> 平成27年度：47件/995時間 <small>へいせい ねんど けん</small> 平成28年度：67件 <small>じかん</small> /1,081時間 <small>へいせい ねんど けん</small> 平成29年度：91件 <small>じかん</small> /2,003時間 <small>へいせい ねんど けん</small> 平成30年度：61件 <small>じかん</small> /1,234時間 <small>れいわがねんど けん</small> 令和元年度：51件 <small>じかん</small> /1,139.5時間 <small>れいわ ねんど み こ</small> 令和2年度(見込み) <small>けん じかん</small> : 12件/248時間	○
肺炎球菌ワクチン接種助成事業 <small>はいえんきゅうきん</small> 肺炎球菌ワクチン接種助 <small>せつしゅじょ</small> 成事業 ②	推進 <small>すいしん</small> 推進	成人用肺炎球菌ワクチン事 <small>せいじんようはいえんきゅうきん じ</small> 業と連携しながら、対象 <small>ぎょう れんけい たいしょう</small> となる身体障害者手帳 <small>しんたいしょうがいしゃ てちょう</small> (内部機能障害)所有者と <small>ないぶきのうしょうがい しょゆうしゃ</small> 医療機関に対し、事業の <small>いりょうきかん たい じぎょう</small> 周知と利用案内を行い、 <small>しゅうち りょうあんない おこな</small> 6年間で約1,600件の接種を <small>ねんかん やく けん せつしゅ</small> 助成しました。	○

事業名 <small>じぎょうめい</small> 事業名	目標 <small>もくひょう</small> 目標 <small>だい き かい てい じ</small> (第3期改定時)	第3期計画期間の実績 <small>だい き けい かく き かん じっせき</small> 第3期計画期間の実績 <small>れい わ ねん ど まつ み こ</small> (令和2年度末見込み)	評価 <small>ひょうか</small> 評価
<small>いりょう き かん れん けい じぎょう</small> 医療機関連携事業(あ)	<small>すいしん</small> 推進	<small>ち てき しょう がい しゃ せん もん が いらい せつ ち い</small> 知的障害者専門外来設置医 <small>りょう き かん びょう いん じっし</small> 療機関を5病院で実施し ました。 <small>びょう いん すう じゅ しん かん じゃ すう</small> <病院数/受診患者数> <small>へい せい ねん ど びょう いん にん</small> 平成27年度：2病院/92人 <small>へい せい ねん ど びょう いん にん</small> 平成28年度：3病院/120人 <small>へい せい ねん ど びょう いん にん</small> 平成29年度：4病院/123人 <small>へい せい ねん ど びょう いん にん</small> 平成30年度：5病院/162人 <small>れい わ ねん ど びょう いん にん</small> 令和元年度：5病院/196人 <small>れい わ ねん ど み こ</small> 令和2年度(見込み) <small>びょう いん にん</small> : 5病院/196人	○

事業名 <small>じぎょうめい</small>	目標 <small>もくひょう</small> (第3期改定時) <small>だい き かいていじ</small>	第3期計画期間の実績 <small>だい きけいかくきかん じっせき</small> (令和2年度末見込み) <small>れいわ ねんどまつみ こ</small>	評価 <small>ひょうか</small>
メディカルショートステイ システム【再掲】 <small>さいけい</small> あ	推進 <small>すいしん</small>	<p> <small>りようしゃ たい じぎょう</small> 利用者に対し、事業のさら <small>なる しゅうち はか りようとうろく</small> なる周知を図り、利用登録 <small>を そくしん</small> を促進しました。 </p> <p> <small>また きょうりよく いりよう きかんとう</small> また、協力医療機関等の <small>かんけいしゃ む じつ む けんしゅう じ</small> 関係者向けに実務研修や事 <small>ぎょうせつめいなど おこな</small> 業説明等を行い、事業へ <small>の り かい ふか</small> の理解を深めていただくこ <small>とに つと</small> とに努めました。 </p> <p> <small>じぎょうかい しとうしょ きょうりよく い</small> 事業開始当初から協力医 <small>療 りよう きかん すく かだい</small> 療機関が少なく課題であっ <small>た ほくぶほうめん れいわ がんねん</small> た北部方面に、令和元年11 <small>がつ あら きょうりよく いりよう き</small> 月から新たに協力医療機 <small>かん びょういんくわ ぜん</small> 関が1病院加わり、全11 <small>びょういん じっし</small> 病院で実施しました。 </p> <p> <small>とうろくしゃすう</small> <登録者数> <small>へいせい ねんど にん</small> 平成26年度：129人 <small>れいわ がんねんど にん</small> →令和元年度：365人 <small>れいわ ねんど かみはんき にん</small> 令和2年度上半期：341人 </p> <p> <small>りようの にんずう</small> <利用延べ人数> <small>へいせい ねんど にん</small> 平成26年度：74人 <small>れいわ がんねんど にん</small> →令和元年度：231人 <small>れいわ ねんど かみはんき にん</small> 令和2年度上半期：23人 <small>(うち かぞく しつべい り</small> (うち家族の疾病による利 <small>よう にん</small> 用8人) <small>りようの にっすう</small> <利用延べ日数> <small>へいせい ねんど にち</small> 平成26年度：671日 <small>れいわ がんねんど にち</small> →令和元年度：1,426日 <small>れいわ ねんど かみはんき にち</small> 令和2年度上半期：261日 <small>れいわ ねんど しんがた</small> 令和2年度は新型コロナウイルス <small>イルス かんせんしゅう えいきょう</small> イルス感染症の影響によ <small>る りようひか どう りようしゃ</small> る利用控え等で利用者が <small>げんしょう</small> 減少しました。 </p>	○

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 だい き かい てい じ (第3期改定時)	だい き けい かく き かん じ っ せ き 第3期計画期間の実績 れい わ ねん ど ま つ み こ (令和2年度末見込み)	ひょうか 評価
ざいたくりょうようじ ちいきせいかつ ささ 在宅療養児の地域生活を支 えるネットワーク連絡会 れんらくかい	すいしん 推進	べんきょうかい へいせい ねん ど れい 勉強会は平成27年度から令 和元年度までに9回開催 し、延べ2,537名が参加しま した。 れい わ ねん ど しんがた 令和2年度は新型コロナウイルス かんせんしょうぼうし イルス感染症防止のため、 ちゅうし 中止しました。 いりょうかんけいしゃ ちゅうしん 医療関係者が中心となり、 しょうがいじ しゃ せいかつ ささ 障害児・者の生活を支える うえ かい およ とりくみとう じょう 上での課題及び取組等の情 ほうこうかん じっ し し えん 報交換などを実施し、支援 の促進に努めました。 そくしん つと	○
いりょうきかん どう 医療機関ネットワーク等の こうちく 構築	すいしん 推進	じゅうしんしょうがいじ しゃ ひつよう 重心障害児・者が必要とし ている医療等を把握するた めアンケート調査を平成 ねん ど じっ し 28年度に実施しました(860 にんかいとう 人回答)。 せいしょうねんきょく けんこうふくし こども青少年局、健康福祉 きょく いりょうきょく かんけい きょく 局、医療局の関係3局で じゅうどしんしんしょうがいじ しゃ せいかつ 重度心身障害児・者の生活を ささ 支えるための支援体制の構 ちく けんとう 築を検討しています。	△

事業名 <small>じぎょうめい</small> <small>じぎょうめい</small> 事業名	目標 <small>もくひょう</small> <small>だいきかいていじ</small> (第3期改定時)	第3期計画期間の実績 <small>だい きけいかくきかん じっせき</small> <small>れいわ ねんどまつみこ</small> (令和2年度末見込み)	評価 <small>ひょうか</small> 評価
歯科保健医療推進事業 <small>しかほけんいりょうすいしんじぎょう</small> 歯科保健医療推進事業 <small>しんしんしょうがいじ しゃしかしんりょう</small> (心身障害児・者歯科診療)	推進 <small>すいしん</small> 推進	<横浜市歯科保健医療センター心身障害児・者歯科診療件数> <small>よこはまししかほけんいりょう</small> <small>しんしんしょうがいじ しゃしかしん</small> <small>りょうけんすう</small> 療件数> <small>へいせい ねんど</small> 平成27年度：9,773件 <small>へいせい ねんど</small> 平成28年度：9,797件 <small>へいせい ねんど</small> 平成29年度：10,054件 <small>へいせい ねんど</small> 平成30年度：9,539件 <small>れいわがねんど</small> 令和元年度：9,750件 <small>れいわ ねんど みこ</small> 令和2年度(見込み) : 7,249件 <small>きょうりょくいりょうきかんすう しんしんしょう</small> <協力医療機関数/心身障 <small>がいじ しゃしかしんりょうかんじやすう</small> 害児・者歯科診療患者数> <small>へいせい ねんど</small> 平成27年度：215か所 /10,173人 <small>へいせい ねんど</small> 平成28年度：216か所 /10,224人 <small>へいせい ねんど</small> 平成29年度：209か所 /8,345人 <small>へいせい ねんど</small> 平成30年度：216か所 /10,361人 <small>れいわがねんど</small> 令和元年度：213か所 /11,059人 <small>れいわ ねんど みこ</small> 令和2年度(見込み) : 210か所/8,752人	○
医療的ケア児・者等の支援のための関係機関の協議の場の設置 <small>いりょうてき じ しゃとう しえん</small> 医療的ケア児・者等の支援 <small>かんけいきかん きょうぎ</small> のための関係機関の協議の <small>ば せっち</small> 場の設置	推進 <small>すいしん</small> 推進	令和元年10月、横浜市医療的 <small>れいわがねん がつ よこはましりりょうてき</small> ケア児・者等支援検討委員会 <small>じ しゃとうしえんけんどういんかい</small> を設置し、地域課題解決のた <small>せっち ちいきかだいかいけつ</small> め情報共有や意見交換を <small>じょうほうきょうゆう いけんこうかん</small> 行いました。令和2年度は <small>おこな れいわ ねんど</small> 令和2年7月及び令和3年 <small>れいわ ねん がつおよ れいわ ねん</small> 2月の2回開催しました。	○

しひょうめい 指標名	へいせい ねんど 平成29年度 じっせき (実績)	へいせい ねんど 平成30年度 じっせき (実績)	れいわがんねんど 令和元年度 じっせき (実績)	れいわ ねんど 令和2年度 じっせき (実績見込み)
いりようてき じ しゃどう たい 医療的ケア児・者等に対す る関連分野の支援を調整 するコーディネーターの はいち 配置 ㊦	—	じゅんび 準備	にん 1人	にん 6人

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 だい き かいてい じ (第3期改定時)	だい きけいかくきかん じっせき 第3期計画期間の実績 れいわ ねんどまつみ こ (令和2年度末見込み)	ひょうか 評価
せいしんかきゅうきゅういりようたいさくじぎょう 精神科救急医療対策事業	85.0 % (市内病院に対す る3次救急移送 先病院の割合)	し ないびょういん たい じきゅう 市内病院に対する3次救 急移送先病院の割合： 82.4 % つうほうけんすう ぞう か つづ なか 通報件数が増加し続ける中 でも、すみ やかに いりよう てい でも、速やかに医療が提 供できるよう対応時間の たんしゆく つと 短縮に努めました。ま た、できるかぎり住み慣れ た地域で治療を継続して いけるよう、きんきゅうにゆういん いけるよう、緊急入院し た患者をすみ やかに し ない い た患者を速やかに市内医 療機関につなぎました。	△
せいしんしっかん がっぺい しんたい 精神疾患を合併する身体 救急患者の救急医療 たいせいせいび じぎょう 体制整備事業	すいしん 推進	せいしんしっかん とくていしやうじやう 精神疾患のうち特定症 状 をもつ身体救急患者に対 おう びょういんぐん たい 応する病院群について、3 びょういん たいせい さんかく 病院が体制に参画してい ます。	○

取組3-2 バリアフリー

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>もくひょう 目標 (第3期改定時)</p>	<p>だい きけいかくきかん じっせき 第3期計画期間の実績 れいわ ねんどまつみ こ (令和2年度末見込み)</p>	<p>ひょうか 評価</p>
<p>ふくし 福祉のまちづくり しんじぎょう 進事業</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>ししよくいん しなせつけいし 市職員や市内設計士を たいしやう ふくし 対象にした「福祉のまち づくり研修」の実施や小 がくせい む はい 学生向けリーフレットの配 ふとう ふくし 布等バリアフリーや福祉の まちづくりの普及啓発に とく 取り組みました。 ふくし じやうれい 福祉のまちづくり条例に もと じぜんきやうぎ せつけいそ 基づく事前協議や設計相 だんとう たいおう 談等に対応しました。</p>	<p>○</p>
<p>こうきやうこうつうきかん 公共交通機関のバリアフ りー化</p>	<p>てつどうえきしや 鉄道駅舎へのエレ べーター等の せっち ばーせんと 設置：100 % (対象は1日の利 ようしや にんいじやう 用者3,000人以上 の駅) ノンステップバス どうにゆうりつ ばーせんと 導入率：70 %</p>	<p>えきしや せっち 駅舎エレベーター設置につ いて、れいわ ねんどまつじてん 令和2年度末時点で、 しなせい えきちゆう えき だんさ 市内158駅中152駅が段差 かいしょうず しんちよくりつ 解消済みで、進捗率は、 ばーせんと 96.2 % です。ノンステッ プバス導入について、れいわ どうにゆう 令和 がねんと だい れいわ ねんど 元年度は46台、令和2年度 は10台を補助対象としま した。 ねんかん るいけいほじよだいすう 6年間の累計補助台数は、 だい れいわ がねんとまつじてん 235台で、令和元年度末時点 の導入率は77.6 % で す。</p>	<p>△</p>
<p>ユニバーサルデザインタク シー導入促進事業(あ)</p>	<p>へいせい ねんど 平成24年度からの るいけいじよせいだいすう だい 累計助成台数490台</p>	<p>へいせい ねんど るいけいじよせい 平成24年度からの累計助成 だいすう だい 台数は288台です。</p>	<p>△</p>
<p>バリアフリーの推進 (バリアフリー基本構想の けんとう さくてい 検討・策定)</p>	<p>みさくてい ちく しんき 未策定地区の新規 さくていとう すいしん 策定等を推進</p>	<p>れいわ ねんどまつ く 令和2年度末までに、18区 えき さくてい かんりやう 30駅での策定が完了して います。</p>	<p>○</p>

事業名 <small>じぎょうめい</small> 事業名	目標 <small>もくひょう</small> 目標 <small>だい き かいてい じ</small> (第3期改定時)	第3期計画期間の実績 <small>だい きけいかくきかん じっせき</small> 第3期計画期間の実績 <small>れいわ ねん どまつ み こ</small> (令和2年度末見込み)	評価 <small>ひょうか</small> 評価
バリアフリーの推進 <small>すいしん</small> 推進 (バリアフリー歩行空間の整備) <small>ほ こうくうかん</small> (バリアフリー歩行空間の整備) <small>せいび</small> 整備)	バリアフリー化 <small>か</small> 化 整備延長累計 <small>せいびえんちようるいけい</small> 整備延長累計 <small>きろめーとる</small> 42 k m	戸塚駅周辺地区、星川駅 <small>とつかえきしゅうへん ちく ほしかわえき</small> 戸塚駅周辺地区、星川駅 <small>しゅうへん ちく どうろとくていじぎょう</small> 周辺地区の道路特定事業 <small>けいかく みなお おこな れいわ</small> 計画の見直しを行い、令和 <small>ねん どまつ ごうけい きろめーとる</small> 2年度末で合計45.1 k m <small>み こ</small> (見込み)のバリアフリー <small>か おこな</small> 化を行いました。	○
横浜市公共サインガイド <small>よこはましこうきょう</small> 横浜市公共サインガイド <small>かいてい</small> ラインの改訂	改訂ガイドライン <small>かいてい</small> 改訂ガイドライン <small>うんようすいしん</small> の運用推進	東京2020オリンピック・パ <small>とうきょう</small> 東京2020オリンピック・パ <small>らりんぴっく へいせい</small> ランピックに向けた案内 <small>ずようきごう じすかいせい う</small> 図用記号のJIS改正を受け、 <small>へいせい ねん がつ よこはましこう</small> 平成30年3月に横浜市公 <small>きょう</small> 共サインガイドラインを <small>かいてい みご</small> 改訂しました。改訂後は、 <small>うんよう てきせつ</small> ガイドラインの運用を適切 <small>おこな</small> に行いました。	○
学校施設のバリアフリー <small>がっこうしせつ</small> 学校施設のバリアフリー	推進 <small>すいしん</small> 推進	車いす利用等の児童・生徒 <small>くるま りようどう じどう せいと</small> 車いす利用等の児童・生徒 <small>ざいせき</small> が在籍しているがエレベ <small>みせいび</small> ターが未整備である学校 <small>がっこう</small> 学校 <small>せいび</small> に、エレベーターを整備し ました。 <small>れいわ ねん どまつ るい</small> ・令和2年度末までの累 <small>けい しょう ちゅう ぎ むきょういくがっこう</small> 計：小・中・義務教育学校 <small>こうちゅう こう</small> 487校 中 200校	○

事業名 じぎょうめい	目標 もくひょう (第3期改定時) だい きかいていじ	第3期計画期間の実績 だい きけいかくきかん じっせき (令和2年度末見込み) れいわ ねんどまつみ こ	評価 ひょうか
しょうがいしゃぎやくたいたいさく じぎょう 障害者虐待対策事業 (普及・啓発) ふきゅう けいはつ	すいしん 推進	・市民向けの啓発チラシを さくせい 作成しました(平成29年3 がつ 月)。 ・国が実施する研修だけ ではなく、市内事業者等を こうし 講師とした、より実態に即 した虐待防止研修を、29 ねんど 年度より、事業者の管理者 およ 及びサービス管理責任者等 を対象に、それぞれ毎年2 かい 回ずつ実施しました。	○
しょうがいしゃさべつかいしょうほうしこう 障害者差別解消法施行に む 向けた対応 たいおう	—	・横浜市障害者差別解消 よこはまししょうがいしゃ さべつかいしょう 検討部会の提言を受け、障 けんとうぶかい ていげん しょう 害者差別解消の推進に関 がいしゃ さべつかいしょう すいしん かん する取組指針を策定しまし とりくみししん さくてい した(平成28年2月)。 へいせい ねん がつ	○
ししよくいんたいおうようりょう さくていおよ 市職員対応要領の策定及 びしゅうち びしゅうち び周知	すいしん 推進	・市職員対応要領を策定 ししよくいんたいおうようりょう さくてい し、各区局向けに周知しま かくくきやくむ しゅうち した。 ・全職員を対象として、 ぜんしよくいん たいしょう 各区局が実施する研修等 かくくきやく じっし けんしゅうとう への障害当事者講師派遣 しょうがいたうじしやこうし はけん の仕組みを作り、出前講座 しく つく てまえこうざ 等を実施しました。 とう じっし ・全職員・昇任予定者向 ぜんしよくいん しょうにん よていしやむ けにeラーニングを実施し いー じっし ました。 ・障害理解や合理的配慮 しょうがいりかい ごうりてきはりよ の具体例等を示した庁内 ぐたいれいとう しめ ちょうない 向け通信を発行しました。 む つうしん はっこう	○

事業名 <small>じぎょうめい</small>	目標 <small>もくひょう</small> (第3期改定時) <small>だい き かいていじ</small>	第3期計画期間の実績 <small>だい きけいかくきかん じっせき</small> (令和2年度末見込み) <small>れいわ ねんどまつみ こ</small>	評価 <small>ひょうか</small>
市民への普及・啓発 <small>しみん ふきゅう けいはつ</small>	推進 <small>すいしん</small>	・広報よこはまへの記事掲載による啓発を行いました。 <small>こうほう よこはま へ の きじ けいさい けいはつ おこな</small> ・主に知的障害のある人を対象とした啓発資料(すごろく)を作成・配布しました。 <small>おも ちてきしょうがい ひと しょうがい たいしょう けいはつりょう すごろく</small> ・「障害のある人と障害のない人の交流を通した啓発活動」に参加した市民が主体となって継続的に展開していくための活動支援を行いました。 <small>しょうがい ひと しょうがい ひと こうりゅう とお けいはつかつどう さんか しみん しゅたい けいぞくてき てんかい かつどうし えん おこな</small>	○
相談体制等の整備 <small>そうだんたいせいとう せいび</small>	推進 <small>すいしん</small>	・相談対応によっても解決が図られなかった差別事案のあっせんを行う「横浜市障害者差別の相談に関する調整委員会」を設置しました。 <small>そうだんたいおう かいけつ ほか さべつじあん おこな よこはまし しょうがいしゃさべつ そうだん かん ちょうせいいいんかい せっち</small> ・差別事案だと申し出のあったものを「横浜市障害者差別の相談に関する調整委員会」で話し合い、差別だと思われるものについては、あっせん案の提示を行いました。 <small>さべつじあん もう て よこはまし しょうがいしゃ さべつ そうだん かん ちょうせい いいんかい はな あ さべつ おも おん ていじ おこな</small>	○
法施行後の実施状況の検証 <small>ほうしこうご じっしじょうきょう けんしょう</small>	推進 <small>すいしん</small>	横浜市障害者差別解消支援地域協議会、障害者差別解消庁内推進会議において取組の実施状況を報告し、共有しました。 <small>よこはまし しょうがいしゃ さべつかいしょうし えん ちいききょうぎかい しょうがいしゃ さべつかいしょうちょうないすいしんかい ぎ とりくみ じっしじょうきょう ほうこく きょうゆう</small>	○

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 だい き かい てい じ (第3期改定時)	だい き けい か く き かん じ っ せ き 第3期計画期間の実績 れい わ ね ん ど ま つ み こ (令和2年度末見込み)	ひょうか 評価
よこはま し し みんこうけん にんようせい かつ 横浜市市民後見人養成・活 どうし えん じ ぎょう 動支援事業	すいしん 推進	へいせい ねん ど ぜんく てんかい 平成26年度から全区展開し てい りん さん けい ざく ている養成課程を継続して じ っ し れい わ ねん ど 実施しました。令和2年度 は だい き じょうせい かい てい じ っ し よ 第5期養成課程を実施予 定でしたが、しんがた 新型コロナウイルス イルス感染拡大を受けて実 施を見送りました。より多 くのバンク登録者が市民後 けん にん ひつよう かつ し 見人として、必要な方の支 えん かんけい き かん 援ができるよう、関係機関 と れんけい じゆにん すず 連携して受任を進めてお り、れい わ ねん がつ にちげんざい 令和3年3月31日現在、 めい 67名がバンク登録されてい ます。	○

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 (第3期改定時)	だい きけいかくきかん じっせき 第3期計画期間の実績 (令和2年度末見込み)	ひょうか 評価
ほうじんこうけんしえんじぎょう 法人後見支援事業	すいしん 推進	しょうがいしゃ や その かぞく 障害者やその家族にとっ て身近な存在である 障 害 者施設等の 職 員や管理者 を対 象に、平成30年度から 実施している 成年後見制度 の理解促進を目的とした 研 修会を継続して実施した ほか、施設等の依頼による 職 員や家族向けの 出前講 座も実施しました。また、 しょうがいしゃ の 成年後見制度利 用に有効とされている法人 後見の活用について、平成 30年度に作成したリーフレ ットを増刷して関係機関等 に配布し、広報・啓発や 関係者向けの研修会等で 活用しました。あわせて、 ほうじんこうけん おこな だん 法人後見を行っている団 体間の情報共有等を目的 に、ほうじんこうけん し えんれんらくかい 法人後見支援連絡会を ねん かいかいさい 年2回開催しました。	○
せいねんこうけんせいど りようそくしん 成年後見制度の利用促進に む かんけいだんたい けんとう 向けた関係団体との検討	すいしん 推進	へいせい ねん がつ さくてい 平成31年3月に策定された よこはまし せいねんこうけんせいど りようそく 横浜市成年後見制度利用促 進基本計画を受け、成年後 見制度の利用促進のため、 べん ご し かい せんもんしよくだん 弁護士会などの専門職団 たいとう けんとう おこな 体等と検討を行いました。	○

事業名 <small>じぎょうめい</small>	目標 <small>もくひょう</small> (第3期改定時) <small>だい き かいていじ</small>	第3期計画期間の実績 <small>だい きけいかくきかん じっせき</small> (令和2年度末見込み) <small>れいわ ねんどまつみ こ</small>	評価 <small>ひょうか</small>
権利擁護事業 <small>けんりようごじぎょう</small>	推進 <small>すいしん</small>	<p> <small>くしゃきやう</small> 区社協あんしんセンターの <small>けんりようごじぎょうけいやくにんずう</small> 権利擁護事業契約人数は増 <small>か けいこう</small> 加傾向となっています。市 <small>みん しえんしゃ せいど しゅうち</small> 民や支援者に制度の周知・ <small>けいはつどう じっし ひつよう ひと</small> 啓発等を実施し、必要な人 <small>そうき けんりようごじぎょう</small> が早期に権利擁護事業を利 <small>よう</small> 用できるように取組を進め <small>とりくみ すす</small> ていきました。また、契約 <small>しゃ はんだんのうりやく みきわ ひつ</small> 者の判断能力を見極め、必 <small>よう かた ほうてい</small> 要な方は、スムーズに法定 <small>こうけん いこう かん</small> 後見に移行できるよう、関 <small>けい きかん れんけい しえん</small> 係機関と連携して支援をし ました。 <small>くしゃきやう</small> <区社協あんしんセンター <small>けんりようごじぎょうけいやくにんずう</small> 権利擁護事業契約人数> <small>へいせい ねんど じん</small> 平成29年度：1,028人 <small>へいせい ねんど じん</small> 平成30年度：1,139人 <small>れいわがねんど じん</small> 令和元年度：1,158人 </p>	○

指標名 <small>しひょうめい</small>	平成29年度 <small>へいせい ねんど</small> (実績) <small>じっせき</small>	平成30年度 <small>へいせい ねんど</small> (実績) <small>じっせき</small>	令和元年度 <small>れいわがねんど</small> (実績) <small>じっせき</small>	令和2年度 <small>れいわ ねんど</small> (実績見込み) <small>じっせき みこ</small>
申立て及び報酬助成件数 <small>もうした およ ほうしゅうじよせいけんすう</small>	148件 <small>けん</small>	187件 <small>けん</small>	205件 <small>けん</small>	209件 <small>けん</small>

テーマ4 い ちから まな はぐく
 生きる力を学び・育む

とりぐみ
 取組4-1 りょういく
 療育

しひょうめい 指標名	へいせい ねんど 平成29年度 じっせき (実績)	へいせい ねんど 平成30年度 じっせき (実績)	れいわがんねんど 令和元年度 じっせき (実績)	れいわ ねんど 令和2年度 じっせきみこ (実績見込み)
しょうがいじそうだん 障害児相談 <small>見</small>	2,887人	3,097人	3,219人	3,219人

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 だい きかいていじ (第3期改定時)	だい きけいかくきかん じっせき 第3期計画期間の実績 れいわ ねんどまつみこ (令和2年度末見込み)	ひょうか 評価
ちいきりょういく 地域療育センター <small>うんえいじぎょう</small> 運営事業	すいしん 推進	<p>しよんたいききかん ちようきか 初診待機期間が長期化して いた北部及び東部地域療育 センターに医師等を増員 し、初診待機期間の短縮 に取り組みましたが、平成 30年度以降は当初目標 (初診待機期間3.0月)を 達成できませんでした。 しかしながら、西部及び東 部地域療育センターに相談 場所を拡充するとともに、 5センターに相談員を増員 し、初診前の支援の充実を 図りました。</p>	△

事業名 <small>じぎょうめい</small> 事業名	目標 <small>もくひょう</small> 目標 <small>だい き かい てい じ</small> (第3期改定時)	第3期計画期間の実績 <small>だい き けい かく き かん じつ せ き</small> 第3期計画期間の実績 <small>れい わ ね ん ど ま つ み こ</small> (令和2年度末見込み)	評価 <small>ひょうか</small> 評価
地域訓練会運営費助成事業 <small>ち い き く ん れ ん か い う ん え い ひ じ ゃ せ い じ ぎ ゃ う</small> 地域訓練会運営費助成事業	推進 <small>すいしん</small> 推進	障害児の保護者等が、地域 <small>しょうがいじ ほごしゃとう ちいき</small> 障害児の保護者等が、地域 <small>しえん</small> での支援（ボランティア） <small>え せいかつくんれん しゃかい</small> を得ながら生活訓練や社会 <small>たいけん ちいき けいはつ こう</small> 体験、地域への啓発、交 <small>りゅうかい がくしゅうかいとう じしゆてき</small> 流会、学習会等を自主的 <small>おこな だんたいかつどう</small> に行う団体活動について <small>しえん</small> 支援しました。 <small>しんかた かんせん</small> 新型コロナウイルス感染 <small>しょう えいきょうとう かつどう しゆく</small> 症の影響等で活動を縮 <small>しょう だんたい たい</small> 小している団体に対して <small>かつどうしえん</small> も活動支援ができるよう、 <small>よこはまし しゃかいふくしきょう ぎ かい</small> 横浜市社会福祉協議会 と <small>と ぐ</small> 取り組みました。 <small>じょせいだんたいすう</small> <助成団体数> <small>へいせい ねんど れいわがねんど</small> 平成27年度～令和元年度 <small>ねんかん の だんたい</small> (5年間)：延べ274団体 <small>れい わ ね ん ど み こ</small> 令和2年度（見込み） <small>だんたい</small> ：59団体	△

しひょうめい 指標名		へいせい ねんど 平成29年度 (実績)	へいせい ねんど 平成30年度 (実績)	れいわがねんど 令和元年度 (実績)	れいわ ねんど 令和2年度 (実績見込み)	
ほいくしょうほうもん 保育所等訪問 支援・巡回訪 問 [㊟]	(人)	1,713人	2,194人	2,453人	2,709人	
	(人日)	13,861人日	15,897人日	20,050人日	13,784人日	
じどうはつたつしえん 児童発達支援 [㊟]	(か所)	101か所	116か所	150か所	180か所	
	(人)	—	2,945人	3,203人	3,203人	
	(人日)	199,766人日	228,309人日	249,952人日	287,783人日	
	うち、主に 重症心身 障害児を支 援する事 業所	(か所)	—	3か所	4か所	4か所
	(人)	—	9人	14人	14人	
(人日)	—	644人日	708人日	708人日		
いりょうがたじどうはつ 医療型児童発 達支援 [㊟]	(か所)	9か所	9か所	9か所	9か所	
	(人)	—	192人	170人	170人	
	(人日)	18,604人日	16,974人日	15,721人日	12,770人日	
きょたくほうもんがたじ 居宅訪問型児 童発達支援 [㊟]	(か所)	—	0か所	0か所	0か所	
	(人)	—	0人	0人	0人	
	(人日分)	—	0人日分	0人日分	0人日分	
こども・子育て支援等(保 育所、放課後児童健全育成 事業所等)における障害児 の受入れ体制の整備 [㊟]		—	すいしん 推進	すいしん 推進	すいしん 推進	
ほうかごとう 放課後等デイサ ービス事業 [㊟]	(か所)	262か所	292か所	332か所	362か所	
	(人)	—	6,468人	7,246人	7,246人	
	(人日)	652,983人日	772,894人日	883,285人日	969,252人日	
うち、主に 重症心身 障害児を支 援する事業 所	(か所)	—	13か所	16か所	16か所	
	(人)	—	227人	288人	288人	
	(人日)	—	19,384人日	15,985人日	15,985人日	

事業名 <small>じぎょうめい</small>	目標 <small>もくひょう</small> (第3期改定時) <small>だい き かい てい じ</small>	第3期計画期間の実績 <small>だい き けい かく き かん じっせき</small> (令和2年度末見込み) <small>れい わ ねん ど ま つ み こ</small>	評価 <small>ひょうか</small>
学齢後期障害児支援事業 <small>がくれいこうきしょうがいじしえんじぎょう</small>	4か所 <small>しよ</small>	相談対応延件数の増加傾向 <small>そうだんたいおうのべけんすう ぞう かけいこう</small> を踏まえ、4か所目の事業 <small>ふ</small> 実施を検討しました。 <small>じっし けんとう</small>	△

とくくみ 取組4-2 教育 きょういく

事業名 <small>じぎょうめい</small>	目標 <small>もくひょう</small> (第3期改定時) <small>だい き かい てい じ</small>	第3期計画期間の実績 <small>だい き けい かく き かん じっせき</small> (令和2年度末見込み) <small>れい わ ねん ど ま つ み こ</small>	評価 <small>ひょうか</small>
横浜型センター的機能の <small>よこはまがた てききのう</small> 充実 <small>じゅうじつ じゅうじつ</small>	推進 <small>すいしん</small>	特別支援学校、通級指導教 <small>とくべつしえんがっこう つうきゅうしどうきょう</small> 室及び地域療育センター等 <small>しつおよ ちいきりょういく どう</small> による横浜型センター的機 <small>よこはまがた てきき</small> 能を活用した学校支援を継 <small>のう かつよう がっこう し えん けい</small> 続的に実施し、小・中学 <small>ぞくてき じっし しょう ちゅうが</small> 校等の円滑な運営の一助と <small>こうとう えんかつ うんえい いちじよ</small> しました。	○
特別支援教育における幼 <small>とくべつしえんきょういく</small> 保小の連携 <small>ほしょう れんけい</small>	推進 <small>すいしん</small>	横浜市立学校カリキュラ <small>よこはましりつがっこう</small> ム・マネジメント要領(特 <small>ようりょう とく</small> 別支援教育編)に基づき、 <small>べつ し えん きょういく へん もと</small> 様々な機会を捉えて情報 <small>さまざま きかい たら じょうほう</small> を発信することで、切れ目 <small>はっしん きめ</small> のない支援につなげまし <small>しえん</small> た。	○
就学説明会 <small>しゅうがくせつめいかい</small>	推進 <small>すいしん</small>	5月から6月にかけて、毎 <small>がつ がつ</small> 年20回以上の就学説明会 <small>とし かいじょう しゅうがくせつめいかい</small> を実施しました(感染防止 <small>じっし かんせんぼうし</small> のため令和2年度は実施せ <small>れい わ ねん ど じっし</small> ず)。	○
就学・教育相談の体制強 <small>しゅうがく きょういくそうだん たいせいきょう</small> 化 <small>か</small>	推進 <small>すいしん</small>	毎年約4,000件の就学・教 <small>まいとしやく けん しゅうがく きょう</small> 育相談を行いました。申し <small>いくそうだん おこな</small> 込み件数は年々増加してい <small>こ けんすう ねんねんぞうか</small> ます。	○

事業名 <small>じぎょうめい</small> 事業名	目標 <small>もくひょう</small> 目標 <small>だい き かい てい じ</small> (第3期改定時)	第3期計画期間の実績 <small>だい き けい かく き かん じつ せ き</small> 第3期計画期間の実績 <small>れい わ ねん ど ま つ み こ</small> (令和2年度末見込み)	評価 <small>ひょうか</small> 評価
<small>ちょうかくしょうがいじしえんじぎょう</small> 聴覚障害児支援事業	<small>すいしん</small> 推進	<small>しりつしょう ちゅう ぎ む きょう いく が つ</small> 市立小・中・義務教育学 <small>こう ざい せ き ちょう かく しょう がい</small> 校に在籍する聴覚障害の <small>じどう せい と</small> ある児童生徒にノートテイ クボランティアを派遣し <small>じょうほう ほしょう と く</small> 情報の保障に取り組みま した。 <small>りょうかいすう</small> <利用回数> <small>へいせい ねん ど かい</small> 平成27年度：470回 <small>へいせい ねん ど かい</small> 平成28年度：390回 <small>へいせい ねん ど かい</small> 平成29年度：334回 <small>へいせい ねん ど かい</small> 平成30年度：420回 <small>れい わ が ん ねん ど かい</small> 令和元年度：350回 <small>れい わ ねん ど しゅうけいちゅう</small> 令和2年度：集計中	○
<small>ほごしやきょうしつかいさいじぎょう</small> 保護者教室開催事業	<small>すいしん</small> 推進	<small>なんちょう げん ご しょう がい はつ た つ しょう</small> 難聴・言語障害、発達障 <small>がい ほ ご し や かい</small> 害をテーマにした保護者会 <small>まい と し か く かい かい さい</small> を毎年各3回、開催しまし <small>かん せん ぼう し れい わ</small> た(感染防止のため令和2 <small>ねん ど じつ し</small> 年度は実施せず)。	○
<small>なつ や す し え ん じ ギ ョウ き ャウ が く れ い</small> 夏休み支援事業(旧学 <small>しょう が い じ な つ や す し え ん じ ギ ョウ</small> 齢 障害児夏休み支援事業)	<small>すいしん</small> 推進	<small>とく べ つ し え ん が つ こ う な つ や す き かん</small> 特別支援学校の夏休み期間 <small>かく こ う じ つ じ ョウ あ</small> に、各校の実情に合わせ <small>かい ほう ぶ か つ ど う</small> て、プール開放や部活動・ <small>かつ どう と う</small> レクリエーション活動等の <small>よ か かつ どう じつ し</small> 余暇活動を実施しました。	○

事業名 <small>じぎょうめい</small> <small>じぎょうめい</small>	目標 <small>もくひょう</small> (第3期改定時) <small>だい き かい いてい じ</small>	第3期計画期間の実績 <small>だい きけいかくきかん じっせき</small> (令和2年度末見込み) <small>れいわ ねんどまつみ こ</small>	評価 <small>ひょうか</small>
私立幼稚園等特別支援教 <small>しりつようちえんとうとくべつ し えんきょう</small> 育費補助事業 <small>いくひ ほじょじぎょう</small>	推進 <small>すいしん</small>	私学助成の私立幼稚園等で <small>しがくじょせい しりつようちえんとう</small> 障害児利用に対して経費 <small>しょうがいじりようたい けいひ</small> 助成を行いました。 <small>じょせい おこな</small> <対象園児数/補助総額> <small>たいしょうえんじすう ほじょそうがく</small> 平成27年度 <small>へいせい ねんど</small> : 838人/165,784千円 <small>にん せんえん</small> 平成28年度 <small>へいせい ねんど</small> : 903人/180,600千円 <small>にん せんえん</small> 平成29年度 <small>へいせい ねんど</small> : 841人/168,198千円 <small>にん せんえん</small> 平成30年度 <small>へいせい ねんど</small> : 771人/153,500千円 <small>にん せんえん</small> 令和元年度 <small>れいわがねんど</small> : 680人/136,000千円 <small>にん せんえん</small> 令和2年度(見込み) <small>れいわ ねんど み こ</small> : 600人/120,000千円 <small>にん せんえん</small>	○
特別支援教育コーディネ <small>とくべつしえんきょういく</small> ーターの機能強化とスキル <small>きのうきょうか</small> アップ(旧発達障害児等 <small>きゅうはつたつしょうがいじとう</small> 支援事業) <small>しえんじぎょう</small>	推進 <small>すいしん</small>	特別支援教育コーディネ <small>とくべつしえんきょういく</small> ーター養成に加え、スキル <small>ようせい くわ</small> アップ研修を行い、さら <small>けんしゅう おこな</small> なる専門性の向上を図る <small>せんもんせい こうじょう ほか</small> とともに、協議会を開催し、 <small>きょうぎかい かいさい</small> 情報共有・事例検討等を <small>じょうほうきょうゆう じれいけんとうとう</small> 進めました。 <small>すす</small>	○
ユニバーサルデザインの <small>しえん もと じゅぎょう てんかい</small> 視点に基づく授業の展開	推進 <small>すいしん</small>	全ての子ども意欲を高め <small>すべ こ いたく たか</small> 理解を深める授業づくり <small>りかい ふか じゅぎょう</small> に向けた教職員への研 <small>む きょうしよくいん けん</small> 修や、ハマ・アップ授業 <small>しゅう じゅぎょう</small> づくり講座等を通して、学 <small>こうざとう とお がっ</small> 校への支援を行いました。 <small>こう しえん おこな</small>	○

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 (第3期改定時)	だい きけいかくきかん じっせき 第3期計画期間の実績 (令和2年度末見込み)	ひょうか 評価
とくべつしえんがっこう 特別支援学校における I C てい-きき かつよう T 機器の活用	すいしん 推進	とくべつしえんがっこうぜん こう 特別支援学校全13校におい て、タブレット端末やWi-Fi かんきょう ひつよう せいび すず 環境など必要な整備を進 めながら、指導方法の充実 しどうほうほう じゅうじつ に向けた研究を行いました む けんきゅう おこな た。	○
とくべつしえんがっこう さいへんせいび 特別支援学校の再編整備	すいしん 推進	したいふじゆうとくべつしえんがっこう 肢体不自由特別支援学校の しんきかいこう 新規開校、スクールバスの ちようじかんか かいしやう む 長時間化の解消に向けた とりくみ いりやうてき たいせい 取組や医療的ケアの体制 じゅうじつ きやういくかんきやう 充実など、教育環境の こうじやう む とりくみ すず 向上に向けて取組を進め ました。	△
とくべつしえんがっこう 特別支援学校スクールバス の運行 うんこう	すいしん 推進	いりやうてき どう 医療的ケア等によりスクー るバスでの通学が困難な児 つうがく こんなん じ 童生徒を対象に福祉車両 どうせい と たいしやう ふくししやりやう 等による通学支援を試行す るなど、通学支援の充実 とう に取り組みました。	○
とくべつしえんがっこういりやうてき たい 特別支援学校医療的ケア体 せいせいび じぎやう きやうしたいふ じ 制整備事業（旧肢体不自 ゆうとくべつしえんがっこういりやうてき 由特別支援学校医療的ケア たいせいせいびじぎやう 体制整備事業）	すいしん 推進	したいふじゆうとくべつしえんがっこう 肢体不自由特別支援学校6 こう かんごし はいち 校に看護師を配置するな いりやうてき ともな じ ど、医療的ケアを伴う児 どうせい と あんしん あんぜん きやう 童生徒が安心・安全に教 いく う かんきやうせいび 育を受けられる環境整備の じゅうじつ と く 充実に取り組みました。	○
こうないけんしゅう じっし 校内研修の実施	すいしん 推進	すべ しょう ちゅうがっこうとう 全ての小・中学校等にお いて「障害者差別解消法 しょうがいしやさべつかいしやうほう 施行に伴う合理的配慮」 しこう ともな ごうりてきはりよ や「発達障害の理解を深 はったつしやうがい りかい ふか めるために」など各校の実 じやう おう こうない 情に応じたテーマで校内 けんしゅう じっし 研修を実施しました。	○

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 (第3期改定時)	だい きけいかくきかん じっせき 第3期計画期間の実績 (令和2年度末見込み)	ひょうか 評価
とくべつ しえん きょういく しえんいん じぎょう 特別支援教育支援員事業 (旧障害児学校生活支援員 事業)	すいしん 推進	しょう ちゅうがっこうとう 小・中学校等において、 しょうがい がくしゅうめん 障害などにより学習面、 せいかつめん あんぜんめん しえん 生活面や安全面への支援が ひつよう じどうせいと たい とく 必要な児童生徒に対し、特 べつ しえんきょういく しえんいん はいち 別支援教育支援員を配置 しました。	○
とくべつ しえんきょういく 特別支援教育のリーダー の育成	すいしん 推進	だいがくとうせんもんきかん はけん 大学等専門機関への派遣を おこな とうくべつし 行うことにより、特別支 えんきょういく にな きょういん 援教育を担う教員のリー ダーの養成を行いました。	○
とくべつ しえんがっこうしゅうろうしえんじぎょう 特別支援学校就労支援事業	すいしん 推進	こうとうとくべつしえんがっこう ひの 高等特別支援学校(日野 ちゅうおう ふたばし わかばだいち 中央、二つ橋、若葉台知 てきしょうがいきょういくぶもん こう 的障害教育部門)の3校 ひとり しゅうろうしえん じどう に1人ずつ就労支援指導 いん はいち かくこう 員を配置し、各校における じっしゅうさきかいたく しょくばていちゃく 実習先開拓や職場定着 しえん とくく 支援に取り組みました。	○
とくべつ しえん がっこう しんろ たんどうしゃ 特別支援学校進路担当者 れんらくかい かいさい 連絡会の開催	すいしん 推進	しりつとくべつしえんがっこう しんろたん 市立特別支援学校の進路担 とうしゃ しょうがいしゅべつ こ 当者が障害種別を超えて ねん かにてい どじょうほうこうかん じ 年5回程度情報交換や事 れいけんきゅう おこな はばひろ しん 例研究を行い、幅広い進 ろ せんたく たいおう 路選択に対応できるよう取 り組みました。	○

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 (第3期改定時)	だい きけいかくきかん じっせき 第3期計画期間の実績 (令和2年度末見込み)	ひょうか 評価
がくせいとう たいしょう じんざい 学生等を対象とした人材 かくほじぎょう の確保事業(あ)	すいしん 推進	しょうがいふくし しごと みりよく ① 障害福祉の仕事の魅力 を伝えるプロモーション動 画を2本作製しました。 ・ しょうがいしゃしえんしせつ はたら 障害者支援施設で働く こと (平成29年度作成) ・ グループホームで働く こと (令和元年度作成) ② プロモーション動画を公 共交通機関や各種イベン トで放映しました。 < 公共交通機関での放映 日数 > へいせい ねんど の にち 平成30年度：延べ82日 れいわ がんねんど の にち 令和元年度：延べ59日 れいわ ねんど の にち 令和2年度：延べ56日 しょうがいふくしじぎょうしょ とっか ③ 障害福祉事業所に特化し た求人サイトを試行的に 開設・運営しました。 開設時期：令和元年度11月 掲載求人件数(累計) : 420件	○

事業名 <small>じぎょうめい</small> 事業名	目標 <small>もくひょう</small> 目標 <small>だい き かい てい じ</small> (第3期改定時)	第3期計画期間の実績 <small>だい きけいかくきかん じっせき</small> 第3期計画期間の実績 <small>れいわ ねんどまつみ こ</small> (令和2年度末見込み)	評価 <small>ひょうか</small> 評価
<small>しょうがいとくせい おう しえん</small> 障害特性に応じた支援の <small>けんしゅう</small> ための研修	<small>すいしん</small> 推進	<small>しょうがいふくし じぎょう</small> ・障害福祉サービス事業 <small>しょうとう しょくいん たいしょう こう</small> 所等の職員を対象に、行 <small>どうしょうがい かか しえんりよくこう</small> 動障害に係る支援力向 <small>じょう はか けんしゅう し</small> 上を図るための研修を市 <small>ないほうじん きやうどう</small> 内法人が共同して「オール <small>よこはま じっし</small> 横浜」として実施しました <small>さいけい</small> (再掲)。 <small>はったつしょうがい かん いちじ</small> ・発達障害に関する一次 <small>そうだん しえん きかん しえん</small> 相談支援機関の支援スキル <small>こうじょう けんしゅう じっし</small> 向上のため、研修を実施 しました。	○
<small>いりょうじゆうじしゃけんしゅうじぎょう</small> 医療従事者研修事業 <small>さいけい</small> 【再掲】㊦	<small>すいしん</small> 推進	<small>いりょうきかん ふくししせつどう きん</small> 医療機関や福祉施設等に勤 <small>む かん ごし たいしょう</small> 務する看護師を対象に <small>しょう に ほうもんかん ご じゅうしょうしん</small> 「小児訪問看護・重症心 <small>しんしょうがい じしゃけんしゅう まいとし</small> 身障害児者研修」を毎年 <small>じっし</small> 実施しました。 <small>しな いけんしゅうしゅうりょうしやすう</small> <市内研修修了者数> <small>へいせい ねんど にん</small> 平成27年度：22人 <small>へいせい ねんど にん</small> 平成28年度：32人 <small>へいせい ねんど にん</small> 平成29年度：30人 <small>へいせい ねんど にん</small> 平成30年度：29人 <small>れいわがねんど にん</small> 令和元年度：38人 <small>れいわ ねんど にん</small> 令和2年度：29人	○
<small>しょうがいふくし しせつどう はたら かん</small> 障害福祉施設等で働く看 <small>ごし しえん さいけい</small> 護師の支援【再掲】㊦	<small>すいしん</small> 推進	<small>ちかつ たきのうがたきよてん</small> 地活ホームや多機能型拠点 <small>たいしょう しかいし</small> を対象に、歯科医師による <small>じゅんかいそうだん せんもんい</small> 巡回相談や専門医による <small>けんしゅう こうれい</small> てんかん研修のほか、高齢 <small>しせつけんがくかい かんごしどう</small> 施設見学会や看護師等のネ <small>ネット</small> ットワークづくりのための <small>かんごしどうかいぎ じっし</small> 看護師等会議を実施しまし た。	○

事業名 <small>じぎょうめい</small> <small>じぎょうめい</small> 事業名	目標 <small>もくひょう</small> 目標 <small>だい き かい てい じ</small> (第3期改定時)	第3期計画期間の実績 <small>だい き けい かく き かん じつ せ き</small> 第3期計画期間の実績 <small>れい わ ねん ど ま つ み こ</small> (令和2年度末見込み)	評価 <small>ひょうか</small> 評価
就労支援機関の人材育成 <small>しゅうろうしえんきかん じんざいいくせい</small> 就労支援機関の人材育成	推進 <small>すいしん</small> 推進	各センター間での支援員の <small>かく かん しえんいん</small> 各センター間での支援員の <small>じん じこうりゅう つう しえんしゅ</small> 人事交流を通じた支援手 <small>ほうとう きょうゆう じっし</small> 法等の共有を実施しまし た。また、各就労支援セ <small>かくしゅうろうしえん</small> ンター職員のワーキング <small>しよくいん</small> グループによる「一次相 <small>いち じ そう</small> 談」「企業支援」をテーマ <small>だん きぎょう しえん</small> とする検討会を開催しまし <small>けんとうかい かいさい</small> た。	○
障害福祉サービス事業所 <small>しょうがいふくし じぎょうしょ</small> 障害福祉サービス事業所 <small>とうしよくいんむ けんしゅう</small> 等職員向けの研修	参加人数(累計) <small>さんかにんずう るいけい</small> 参加人数(累計) <small>にん</small> 380人	市内企業・団体の協力の <small>しないきぎょう だんたい きょうりよく</small> 市内企業・団体の協力の <small>しな い じぎょうしょしよくいん</small> もと、市内事業所職員を <small>たいしょう じっし まい</small> 対象に実施しました(毎 <small>ねん ど がつ</small> 年度6～7月)。 ・平成27年度～令和元年度 <small>へいせい ねん ど れい わ がんねん ど</small> ・平成27年度～令和元年度 <small>きょうりよく きぎょうすうのいけい しゃ</small> 協力企業数累計：126社 <small>へいせい ねん ど れい わ がんねん ど</small> ・平成27年度～令和元年度 <small>さんかしゃすうのいけい めい</small> 参加者数累計：302名 ※ 令和2年度は新型コロナ <small>れい わ ねん ど しんがた</small> ナウイルス感染症対策の <small>かんせんしょうたいさく</small> ため、中止としました。 <small>ちゅうし</small>	○

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>もくひょう 目標 だい き かい てい じ (第3期改定時)</p>	<p>だい き けい かく き かん じっせき 第3期計画期間の実績 れい わ ねん ど ま つ み こ (令和2年度末見込み)</p>	<p>ひょうか 評価</p>
<p>しゃかい さん か すい しん 社会参加推進センターによ る 団 体 活 動 支 援 機 能 の 充 じつ 実</p>	<p>すい しん 推進</p>	<p>しょうがいしゃ じりつ しゃかいさん か 障害者の自立や社会参加 とう そく しん とう じしや 等を促進するための当事者 による じぎょう じぎょう じっし 事業を17事業実施 しています。</p>	<p>○</p>
<p>しょうがいしゃ ほん にん およ かのう 障害者本人及び家族によ る 普 及 ・ 啓 発 活 動 の 推 進 さいけい 【再掲】</p>	<p>すい しん 推進</p>	<p>しゃかいさん か すい しん 社会参加推進センターによ り、 普 及 啓 発 リー フ レ ッ ト の 作 成 及 び 配 布 を 行 い ま した。また、 しょうがいしゃ しゅうかん 障害者週間 にあ 合わせた こうえんかい じっし 合わせた講演会の実施を しました。</p>	<p>○</p>

テーマ5 はたら 働く・活動する・よ 余暇を楽しむ

とくみ 取組5-1 しゅうろう 就労

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 (第3期改定時)	だい きけいかくきかん じっせき 第3期計画期間の実績 (令和2年度末見込み)	ひょうか 評価
しゅうろうしえん 就労支援センター(9か所)	しえんたいしょうしやすう 支援対象者数(9 か所計) 4,400人	しえんたいしょうしやすう <支援対象者数> へいせい ねんど 4,439人 平成27年度：4,439人 へいせい ねんど 4,316人 平成28年度：4,316人 へいせい ねんど 4,722人 平成29年度：4,722人 へいせい ねんど 4,553人 平成30年度：4,553人 れいわがねんど 4,541人 令和元年度：4,541人 れいわ ねんど みこ 令和2年度(見込み) : 4,400人	○
しゅうろうしえんきかん じんざいくせい 就労支援機関の人材育成 【再掲】	すいしん 推進	かく かん しえんいん 各センター間での支援員の じん じこうりゅう つう しえんしゅ 人事交流を通じた支援手 ほうとう きょうゆう じっし 法等の共有を実施しまし た。また、各就労支援セ ンター職員 <small>しよくいん</small> のワーキング グループによる「一次相 談」「企業支援」をテーマ とする検討会 <small>けんとうかい</small> を開催 <small>かいさい</small> しまし た。	○

事業名 <small>じぎょうめい</small>	目標 <small>もくひょう</small> (第3期改定時) <small>だい き かい てい じ</small>	第3期計画期間の実績 <small>だい き けい かく き かん じつ せ き</small> (令和2年度末見込み) <small>れい わ ねん ど ま つ み こ</small>	評価 <small>ひょう か</small>
働きたい！わたしのシンポジウム <small>はたら</small>	参加者数（累計） <small>さん か し ゃ す う る い け い</small> 3,000人 <small>にん</small>	「働きたい！わたしのシンポジウム」を開催し、当 <small>はたら</small> <small>かい さい</small> <small>とう</small> 事者・ご家族等に対して <small>じ しゃ か ぞく など たい</small> 就労啓発事業を実施しま <small>しゅうろうけいはつじぎょう じっし</small> した。 ・平成27年度～令和2年度 <small>へいせい ねん ど れい わ ねん ど</small> 累計参加者数：2,242人 <small>るいけいさん か し ゃ す う にん</small> ※ 令和2年度は新型コロナ <small>れい わ ねん ど しん が た</small> ナウイルス感染症対策の <small>か ん せ ん し ゃ う たい さ く</small> ため中止とし、代替として <small>た い ちゅう し だ い たい</small> 過去のシンポジウムについ <small>か こ</small> てまとめたホームページを 作成しました。 <small>さくせい</small>	○
企業と福祉をつなぐセミナー <small>きぎょう ふくし</small>	参加企業数 <small>さん か きぎょうすう</small> (累計) 240社 <small>るいけい しゃ</small>	神奈川県や他都市と合同で <small>かながわけん た と し ごう どう</small> 企業向けセミナーを実施し <small>きぎょうむ じっし</small> ました。 ・平成27年度～令和2年度 <small>へいせい ねん ど れい わ ねん ど</small> 累計：319社（見込み） <small>るいけい しゃ み こ</small>	○
障害者雇用事例の紹介 <small>しょうがいしゃこようじれい しょうがい</small>	紹介企業数 <small>しょうがいきぎょうすう</small> (累計) 150社 <small>るいけい しゃ</small>	企業や団体等へのヒアリン <small>きぎょう だんたいとう</small> グを行い、順次ウェブペ <small>おこな じゅんじ</small> ージへの掲載を行うとと <small>けいさい おこな</small> もに、より効果的な事例 <small>こうかてき じれい</small> 紹介方法の検討を行いま <small>しょうかいほうほう けんとう おこな</small> した。また、現在掲載され <small>げんざいけいさい</small> ている企業を中心に、事 <small>きぎょう ちゅうしん じ</small> 例紹介に関するアンケー <small>れいしょうがい かん</small> トを実施しました。 <small>じっし</small> ・紹介企業数（累計）： <small>しょうがいきぎょうすう るいけい</small> 106社（令和2年11月時点） <small>しゃ れい わ ねん がつ じてん</small>	○

事業名 じぎょうめい	目標 目 標 (第3期改定時) だい き かいていじ	第3期計画期間の実績 第 3 期 計 画 期 間 の 実 績 (令和2年度末見込み) れいわ ねんどまつみ こ	評価 ひょうか
中小企業への障害者雇用支援 ちゅうしょうぎぎょう しょうがいしゃ こ ようしえん	推進 すいしん	経済団体等に出向き、雇用事例の紹介、支援機関や助成金などの情報発信をおこなう出前講座を実施しました。 けいざいだんたいとう で お こよう じれい しょうかい しえん きかん じよせいきん じょうほうはっしん おこな てまえこうぎ じっし ・平成27年度～令和2年度 累計：224社（見込み） へいせい ねんど れいわ ねんど るいけい しゃ み こ	○
地域における就労支援ネットワークの構築 ちいき じゅうろうしえん こうちく	推進 すいしん	就労支援センターを中心に、特別支援学校やハローワーク、医療機関との研修会や連絡会を実施しました。 じゅうろうしえん ちゅうろしん に、とくべつしえんがっこう いりようきかん けん しゅうかい れんらくかい じっし	○

指標名 しひょうめい	平成29年度 実績 へいせい ねんど じっせき	平成30年度 実績 へいせい ねんど じっせき	令和元年度 実績 れいわがねんど じっせき	令和2年度 実績見込み れいわ ねんど じっせき み こ
福祉施設から一般就労への移行者数 ^福 ふくししせつ いっぱんじゅうろう いこうしゃすう	450人 にん	422人 にん	517人 にん	— ※
就労移行支援事業の利用者数 ^福 じゅうろういこうしえんじぎょう りよう しゃすう	1,088人 にん	1,263人 にん	1,319人 にん	1,296人 にん
就労移行支援の利用者のうち就労移行率が3割以上の事業所の割合 ^福 じゅうろういこうしえん りようしゃ しゅうろういこうりつ わりい じょう じぎょうしょ わりあい	46.7 % ばーせんと	30.8 % ばーせんと	8.7 % ばーせんと	— ※
就労定着支援利用者数 ^福 じゅうろうていちゃくしえんりようしゃすう	—	122人 にん	458人 にん	602人 にん

※ 翌年度に調査を実施するため、数値を把握していません。

事業名 じぎょうめい	目標 だいきかいていじ (第3期改定時)	第3期計画期間の実績 だい きけいかくきかん じっせき (令和2年度末見込み) れいわ ねんどまつみ こ	評価 ひょうか
障害福祉サービス事業所 しょうがいふくし じぎょうじよ 等職員向けの研修【再掲】 どうしょくいんむ けんしゅう さいけい	参加人数(累計) さんかになんずう るいけい 380人 にん	市内企業・団体の協力の しないきぎょう だんたい きょうりよく もと、市内事業所職員を しな い じぎょうしょしょくいん 対象に実施しました(毎 たいしょう じっし まい 年度6～7月)。 ねんど がつ ・平成27年度～令和元年度 へいせい ねんど れいわ がんねんど 協力企業数累計：126社 きょうりよく きぎょうすうるいけい しゃ ・平成27年度～令和元年度 へいせい ねんど れいわ がんねんど 参加者数累計：302名 さんかしゃすうるいけい めい ※ 令和2年度は新型コロ れいわ ねんど しんがた ナウイルス感染症対策の かんせんしょうたいさく ため、中止としました。 ちゅうし	○

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 (第3期改定時)	だい きけいかくきかん じっせき 第3期計画期間の実績 (令和2年度末見込み)	ひょうか 評価
よこはま しょうがいしゃきょうどうじゆ よこはま 障害者共同受 ちゆうそうごう 注 総合センターの運営 うんえい	かめいしせつ 加盟施設における げつがくへいきんこうちん 「月額平均工賃」 が10%以上 じょうしょう 上昇	かいせつ へいせい センターを開設した平成27 ねんど かいめいしせつすう やく 年度の加盟施設数は約200 か所でしたが、現在は330 か所を超え、様々なイベン トでの 出店 調整や公園・ 歩道の清掃、学校内の軽作 業等の受注調整によ り、受注 機会の促進や販 路拡大を図りました。 企業等の訪問時には、作 業等の受注とともに、福 祉的 就労に関する啓発を おこな 行い、新規依頼にも繋が りました。 また、加盟施設の受注ス キル向上や販路拡大を目 的とした研修 を実施しま した。 ※ 加盟施設における月額 平均工賃上昇率：約30 % (対平成27年度比)	○
ゆうせんちやうたつすいしん ちやう 優先 調達推進のための 庁 ない けいはつ 内への啓発	すいしん 推進	まいねんど ゆうせんちやうたつほうしん 毎年度、優先 調達方針を さくてい 策定し、発注 事例を「ハ ートオーダー通信」として ちやうないらん けいさい 庁内LANに掲載するととも に(平成27年度～令和2年 度累計26号発行見込み)、 よこてんかい きたい じれい 横展開が期待される事例に かか ちやうないかいぎどう ほん 関わる 庁内会議等で、発 注の促進 を行いました。	○

事業名 じぎょうめい	目標 むくひょう (第3期改定時) だい き かい てい じ	第3期計画期間の実績 だい きけい かく きかん じっせき (令和2年度末見込み) れいわ ねんどまつみ こ	評価 ひょうか
対象事業所の拡大に向けた検討 たいしょうじぎょうしょ かくだい む けんとう	推進 すいしん	「横浜市障害者支援施設 よこはまししょうがいしゃしえんしせつ 等に準ずる者の認定にか とう じゅん もの にんてい かる要綱」において認定し ようこう にんてい た10事業所について、庁 じぎょうしょ ちょう 内会議等で周知を図りま ないかいぎとう しゅうち はか した。	○

とりにくみ につちゅうかつどう
取組5-3 日中活動

指標名 しひょうめい	平成29年度 へいせい ねんど じっせき (実績)	平成30年度 へいせい ねんど じっせき (実績)	令和元年度 れいわがんねんど じっせき (実績)	令和2年度 れいわ ねんど じっせき みこ (実績見込み)	
生活介護(福) せいかつかいご	(人分) にんぶん	7,375人分 にんぶん	7,616人分 にんぶん	8,049人分 にんぶん	8,207人分 にんぶん
	(人日) にんにち	122,126人日 にんにち	127,071人日 にんにち	133,245人日 にんにち	138,494人日 にんにち
自立訓練(機能 くんれん 訓練)(福) じりつくんれん きのう	(人分) にんぶん	29人分 にんぶん	31人分 にんぶん	38人分 にんぶん	37人分 にんぶん
	(人日) にんにち	478人日 にんにち	500人日 にんにち	554人日 にんにち	583人日 にんにち
自立訓練(生活 くんれん 訓練)(福) じりつくんれん せいかつ	(人分) にんぶん	210人分 にんぶん	241人分 にんぶん	283人分 にんぶん	318人分 にんぶん
	(人日) にんにち	3,410人日 にんにち	3,941人日 にんにち	4,494人日 にんにち	5,113人日 にんにち
就労移行支援 じぎょう 事業(福) しゅうろういこうしえん	(人分) にんぶん	1,088人分 にんぶん	1,263人分 にんぶん	1,319人分 にんぶん	1,296人分 にんぶん
	(人日) にんにち	18,458人日 にんにち	21,429人日 にんにち	22,286人日 にんにち	22,987人日 にんにち
就労継続支援 じぎょう 事業(A型)(福) しゅうろうけいぞくしえん	(人分) にんぶん	705人分 にんぶん	801人分 にんぶん	796人分 にんぶん	742人分 にんぶん
	(人日) にんにち	13,720人日 にんにち	15,419人日 にんにち	15,143人日 にんにち	14,270人日 にんにち
就労継続支援 じぎょう 事業(B型)(福) しゅうろうけいぞくしえん	(人分) にんぶん	3,692人分 にんぶん	3,858人分 にんぶん	3,987人分 にんぶん	4,195人分 にんぶん
	(人日) にんにち	62,686人日 にんにち	65,769人日 にんにち	66,277人日 にんにち	70,451人日 にんにち
地域活動支援セ ンター作業所型 ちいきかつどうしえん センター (福)	(か所) しよ	154か所 しよ	155か所 しよ	152か所 しよ	138か所 しよ
	(人) にん	3,193人 にん	3,115人 にん	3,119人 にん	2,888人 にん
中途障害者地 域活動センター ちゅうとしょうがいしゃち いきかつどう センター (福)	(か所) しよ	18か所 しよ	18か所 しよ	18か所 しよ	18か所 しよ
	(人) にん	534人 にん	523人 にん	496人 にん	467人 にん

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 (第3期改定時)	だい きけいかくきかん じっせき 第3期計画期間の実績 (令和2年度末見込み)	ひょうか 評価
いどうじょうほう うんえいどう 移動情報センター運営等 じぎょう すいしん 事業の推進(あ)	そうだんけんすう けん 相談件数3,600件	そうだんけんすう <相談件数> へいせい ねんど けん 平成27年度：1,647件 (累計12区) へいせい ねんど けん 平成28年度：2,267件 (累計15区) へいせい ねんど けん 平成29年度：2,686件 (全区) へいせい ねんど けん 平成30年度：2,966件 (全区) れいわがんねんど けん ぜんく 令和元年度：3,053件(全区) れいわ ねんど みこ 令和2年度(見込み) : 2,638件(全区)	△
どうけんしゅうじゅ ガイドヘルパー等研修受 こうりょうじよせい さいけい 講料助成【再掲】(あ)	すいしん 推進	じよせいにんずう そうじよせいがく <助成人数/総助成額> へいせい ねんど じん 平成27年度：183人 /3,285千円 へいせい ねんど じん 平成28年度：210人 /3,759千円 へいせい ねんど じん 平成29年度：277人 /4,868千円 へいせい ねんど じん 平成30年度：276人 /5,159千円 れいわがんねんど じん 令和元年度：181人 /3,411千円 れいわ ねんど みこ 令和2年度(見込み) : 130人/2,397千円	○

事業名 <small>じぎょうめい</small> <small>じぎょうめい</small>	目標 <small>もくひょう</small> (第3期改定時) <small>だい き かいていじ</small>	第3期計画期間の実績 <small>だい きけいかくきかん じっせき</small> (令和2年度末見込み) <small>れいわ ねんどまつみ こ</small>	評価 <small>ひょうか</small>
ガイドヘルパースキルアップ研修【再掲】 <small>けんしゅう さいけい</small> ㊤	推進 <small>すいしん</small>	<参加人数> <small>さんかにんずう</small> ・サービス提供責任者向け研修 <small>ていきようせきにしやむ けんしゅう</small> 平成27年度：104人 <small>へいせい ねんど</small> 平成28年度：132人 <small>へいせい ねんど</small> 平成29年度：74人 <small>へいせい ねんど</small> 平成30年度：99人 <small>へいせい ねんど</small> 令和元年度：107人 <small>れいわがん ねんど</small> ・従業者向け研修 <small>じゅうぎょうしやむ けんしゅう</small> 平成27年度：274人 <small>へいせい ねんど</small> 平成28年度：250人 <small>へいせい ねんど</small> 平成29年度：101人 <small>へいせい ねんど</small> 平成30年度：220人 <small>へいせい ねんど</small> 令和元年度：216人 <small>れいわがん ねんど</small> (令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) <small>れいわ ねんど しんがた かんせんしやうかくだいぼうし ちゅうし</small>	○
効率的な車両利用の仕組みの検討 <small>こうりつてき しやりようりよう し く けんとう</small> ㊤	推進 <small>すいしん</small>	乗合送迎の仕組みについて、検討を行いました <small>のりあいそうげい し く</small> が、実際の運用やその管理までの整理には至りませんでした。 <small>じっさい うんよう かんり せいり いた</small>	×

事業名 <small>じぎょうめい</small> 事業名	目標 <small>もくひょう</small> 目標 <small>だい き かい てい じ</small> (第3期改定時)	第3期計画期間の実績 <small>だい き けい かく き かん じつ せき</small> 第3期計画期間の実績 <small>れい わ ねん ど まつ み こ</small> (令和2年度末見込み)	評価 <small>ひょうか</small> 評価
<small>なんびょうかんじゃがいしゅつしえん</small> 難病患者外出支援サービ <small>じぎょう</small> ス事業	<small>すいしん</small> 推進	<small>くるま どう りょう なんびょう</small> 車いす等を利用する難病 <small>かんじゃ たい ひつよう そうげい</small> 患者に対し、必要な送迎サ <small>ていきょう</small> ービスを提供しました。た <small>れい わ ねん ど しんがた</small> だし、令和2年度は新型コ <small>かんせんしやうかんせん</small> ロナウイルス感染症感染 <small>かくだい きんきゆう じたいせんげん</small> 拡大による緊急事態宣言 <small>う いち じ</small> を受け、一時サービスを <small>ていし</small> 停止しました。 <small>へいせい ねん ど れい わ ねん ど</small> ・平成27年度～令和2年度 <small>のべりようかいすう み こ</small> 延利用回数(見込み):3,452 <small>かい</small> 回	○
<small>ざいたくじゆうしやうかんじゃがいしゅつ し えん</small> 在宅重症患者外出支援 <small>じぎょう</small> 事業	<small>すいしん</small> 推進	<small>しんせい たい とどお じよ</small> 申請に対し、滞りなく助 <small>せいぎやう む すず</small> 成業務を進めることがで きました。 <small>へいせい ねん ど れい わ ねん ど</small> ・平成27年度～令和2年度 <small>のべりようかいすう み こ</small> 延利用回数(見込み):3,008 <small>かい</small> 回 <small>へいせい ねん ど れい わ ねん ど</small> ・平成27年度～令和2年度 <small>のべりようじんずう じん</small> 延利用人数：1,154人	○
<small>ふくしゆうしやうんそうじぎやう</small> 福祉有償運送事業	<small>すいしん</small> 推進	<small>ふくしゆうしやういどう</small> 福祉有償移動サービス運 <small>えいきやう ぎ かい かい かい さい</small> 営協議会を17回開催しま <small>れい わ ねん ど</small> した(うち令和2年度2 <small>かい どうろくだんたい ほうもん じつ</small> 回)。登録団体への訪問を実 <small>し</small> 施しました。福祉有償運送 <small>じやうほう</small> のホームページでの情報 <small>ていきやう おこな</small> 提供を行いました。 <small>き ぼう じつ し だんたい たい けん</small> 希望する実施団体に対し研 <small>しゆう じつ し</small> 修を実施しました。	○

しひょうめい 指標名		へいせい ねんど 平成29年度 じっせき (実績)	へいせい ねんど 平成30年度 じっせき (実績)	れいわがねんど 令和元年度 じっせき (実績)	れいわ ねんど 令和2年度 じっせき みこ (実績見込み)
いどうしえんじ 移動支援事 ぎょう いどうかい 業 (移動介 ご つうがくつう 護・通学通 しよしえん 所支援) 福	じかんぶん (時間分)	712,284時間分	735,076時間分	751,205時間分	477,368時間分
	にんぶん (人分)	5,705人分	5,925人分	6,107人分	4,364人分

※ れいわ ねんどじっせき みこ おおはば げんしょう しんがた かんせんしょう かんせんかくだいぼうし
令和2年度実績見込みの大幅な減少は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため
がいしゅつじしゆく えいきょう
の外出自粛の影響によるものです。

とりくみ ぶんか
取組5-5 文化・スポーツ・レクリエーション

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 だい き かい てい じ (第3期改定時)	だい き けい か く き かん じっせき 第3期計画期間の実績 れいわ ねんど まつ み こ (令和2年度末見込み)	ひょうか 評価
さんかがた 参加型アートイベントの開 さい 催	すいしん 推進	しょうがい かの かた かつ 障害のある方のアート活 どう しえん じんざい いくせい 動を支援する人材の育成を もくてき けんしゅうかい しょう 目的とした研修会や、障 がいしゃ かがたがた そうさくかつどう 害者の方々と創作活動を おこな とう 行うワークショップ等を じっし 実施するとともに、「ヨコ ハマ・パラトリエンナー レ」をはじめ、りょうり とうげい 料理や陶芸 などさまざま ジャンルの文化 ぶんか 事業を実施しました。	○
ヨコハマ・パラトリエン ナーレの開催 かいさい	かいさい 開催	「ヨコハマ・パラトリエン ナーレ2020」をかいさい 開催するた め じゅんぴ ちょうせい すず 準備・調整を進め、 れいわ ねん がつ かいさい 令和2年11月に開催いたし ました。	○

事業名 <small>じぎょうめい</small>	目標 <small>もくひょう</small> (第3期改定時) <small>だい き かいていじ</small>	第3期計画期間の実績 <small>だい きけいかくきかん じっせき</small> (令和2年度末見込み) <small>れいわ ねんどまつみ こ</small>	評価 <small>ひょうか</small>
4校種 図画工作・美術・ <small>こうしゅ ず がこうさく びじゅつ</small> 書道作品展 特別支援教育 <small>しょどうさくひんてん とくべつしえんきょういく</small> 部門～つたえたい ぼくの <small>ぶもん</small> おもい わたしのきもち～ <small>かいさい さいけい</small> の開催【再掲】	推進 <small>すいしん</small>	市立学校の児童生徒の作品 <small>しりつがっこう じどうせいと さくひん</small> を一堂に集める市民公開の <small>いちどう あつ しみんこうかい</small> 作品展で、市内の特別支援 <small>さくひんてん しな い とくべつしえん</small> 学校や個別支援学級等に <small>がっこう こべつしえんがつきゅうどう</small> 在籍する幼児児童生徒の作 <small>ざいせき ようじじどうせいと さく</small> 品を出展しました。 <small>ひん しゅってん</small> 毎年、多数の来場があり <small>まいとし たすう らいじょう</small> ました。	○
障害者の芸術活動支援ネ <small>しょうがいしゃ げいじゅつかつどうしえん</small> ットワークの構築 <small>こうちく</small>	推進 <small>すいしん</small>	引き続き、展覧会等の開催 <small>ひ つづ てんらんかいどう かいさい</small> を通じて、支援団体等のネ <small>つう しえんだんたいどう</small> ットワーク化を進めています。 <small>か すす</small>	○
パラトライアスロンの強化 <small>きょうか</small>	推進 <small>すいしん</small>	グリーントライアスロン、 <small>せかい</small> 世界トライアスロンシリー <small>よこはまたいかい</small> ス横浜大会、シーサイドト <small>きょうりょく</small> ラリアスロンに協力して います。また、イグジット <small>じつぎけんしゅう</small> ハンドラーの実技研修を <small>よこはま</small> 横浜ラポールのプールで実 <small>し</small> 施しました。	○
特別支援学校におけるスポ <small>とくべつしえんがっこう</small> ーツ選手育成強化事業 <small>せんしゅいくせいきょうかじぎょう</small>	推進 <small>すいしん</small>	特別支援学校に在籍する <small>とくべつしえんがっこう ざいせき</small> 児童生徒が世界的な大会に <small>じどうせいと せかいてき たいかい</small> 出場するにあたっての支 <small>しゅつじょう</small> 援や、障害者スポーツの普 <small>えん しょうがいしゃ</small> 及啓発を目的とした備品 <small>きゅうけいはつ もくてき びひん</small> 等の整備を行いました。 <small>とう せいび おこな</small>	○

事業名 <small>じぎょうめい</small> 事業名	目標 <small>もくひょう</small> 目標 <small>だい き かい いてい じ</small> (第3期改定時)	第3期計画期間の実績 <small>だい きけいかくきかん じっせき</small> 第3期計画期間の実績 <small>れいわ ねんどまつみ こ</small> (令和2年度末見込み)	評価 <small>ひょうか</small> 評価
障害者スポーツの啓発 <small>しょうがいしゃ けいはつ</small> 障害者スポーツの啓発	推進 <small>すいしん</small> 推進	オリンピック・パラリンピ <small>かいさい お しょうがい</small> ックの開催に向けた障害 <small>しゃ きうん たか</small> 者スポーツの機運の高まり <small>けいき よこはまし</small> を契機に、横浜市スポーツ <small>きょうかい れんけい しょうがいしゃ</small> 協会とも連携し、障害者 <small>ちゅうかくきよてん</small> スポーツの中核拠点であ <small>よこはま しょうがい</small> る横浜ラポールで、障害 <small>しゃ たいけんかい きょう</small> 者スポーツの体験会や教 <small>しつどう じっし</small> 室等を実施しました。	○
身近な地域における障害 <small>み ちか ちいき しょうがい</small> 者スポーツの推進 <small>しゃ すいしん</small> 者スポーツの推進	推進 <small>すいしん</small> 推進	中途障害者地域活動セン <small>ちゅうとしょうがいしゃちいきかつどう</small> ター、横浜市スポーツ協 <small>よこはまし きょう</small> 会等と連携し、障害者ス <small>かいどう れんけい しょうがいしゃ</small> ポーツの推進に取り組みま <small>すいしん と く</small> した。また、障害者スポ <small>しょうがいしゃ</small> ーツの周知活動、スポーツ <small>しゅうちかつどう</small> ボランティア養成講座や初 <small>ようせいこうざ しょ</small> 級障害者スポーツ指導員 <small>きゅうしょうがいしゃ しどういん</small> 研修会等の実施を通し <small>けんしゅうかいどう じっし とお</small> て、支援者・指導者の人材 <small>しえんしゃ しどうしゃ じんざい</small> 育成を進めました。 <small>いくせい すす</small> 育成を進めました。	○
障害者スポーツ文化セン <small>しょうがいしゃ ぶんか</small> ターの整備及び運営 <small>せいびおよびうんえい</small> ターの整備及び運営	「ラポール上 <small>かみ</small> 大岡」運営 <small>おおおか うんえい</small> 「ラポール上 大岡」運営	ラポール上大岡を令和2年 <small>かみおおか れいわ ねん</small> 1月10日に開所しました。 <small>がつ にち かいしょ</small> 1月10日に開所しました。	○